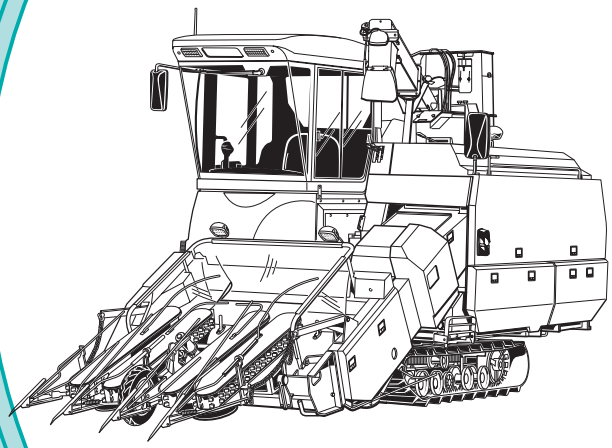
# クボタ普通形コンバイン

# 取扱説明書

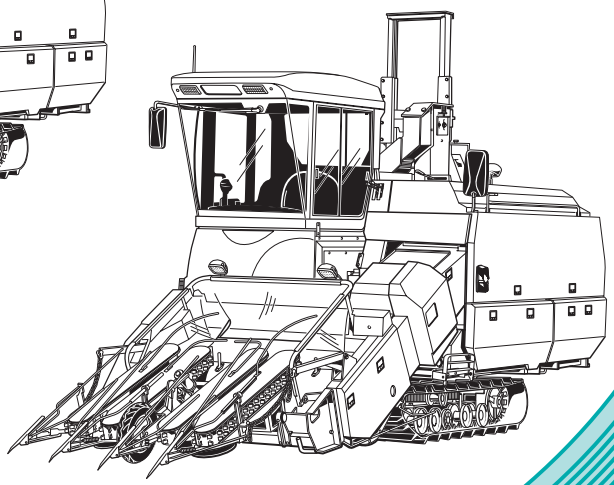
## エアロスターGP

## ARH430 RC-CL RC-CG



1ASADAJAP0020

※イラストはRCヘッダ十CG仕様



1ASADAJAP0010

※イラストはRCヘッダ十CL仕様

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は，リフトアップタンク仕様機について，特に異なる部分の取扱方法，簡単な点検および手入れについて説明してありますのでその他の説明については，別冊の取扱説明書をご覧ください。（別冊と異なる部分は，必ずこの取扱説明書を優先してご活用ください。）
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

# ⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

**注意表示について**

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | 注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警告 | 注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | 注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。 |
| 重要 | 注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。 |
| 補足 | その他，使用上役立つ補足説明を示します。 |

# 本製品の使用目的について

本製品は，大豆・小豆・菜豆類・そば・麦の刈取り・収穫用の作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

# 仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は［ARH430RC-CL 仕様］を基本とし，［ARH430RC-CL 仕様］と取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。従って，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

［例］　ARH430 RC - CL(CG)
①　②　③　④

①エンジン出力（PS）..... ［43］
②ロークロップ..... ［RC 仕様］
③キャビン付きリフトアップタンク仕様..... ［CL 仕様］
④キャビン付きグレンタンク仕様..... ［CG 仕様］

# 目　次


## ⚠安全に作業するために

**安全作業をするため次のことがらを必ず守ってください . . . . . 1**
**安全作業するための表示ラベル . . . . . 2**
**表示ラベルの手入れ . . . . . 4**
表示ラベルをよく読み理解して，安全注意事項を守る . . . . . 4

## サービスと保証について

## 装置の名称と取扱い

**装置の名称と各部のはたらき . . . . . 2**
刈取・リフトアップタンク下降ロックスイッチ . . . . . 5
ホイスト上下スイッチ（RC ヘッダ装着時）. . 5
ゲージ輪上下スイッチ（RC ヘッダ装着時）. . 6
刈取搬送クラッチレバー . . . . . 6
刈刃クラッチスイッチ（RC ヘッダ装着時）. . 7
もみ排出スイッチ . . . . . 7
リフトアップタンク下降ロック金具 . . . . . 8
リフトアップタンク操作レバー . . . . . 8

## 移動走行と輸送

**移動走行について . . . . . 10**
走行前の準備 . . . . . 10
発進のしかた . . . . . 11

## 収穫作業のしかた（RC ヘッダ装着時）

**作物とほ場の条件 . . . . . 12**
作物の倒状とほ場の傾き . . . . . 12
うね（ほ場）づくりについて . . . . . 12
**コンバインの準備 . . . . . 13**
準備のしかた . . . . . 13
**刈取作業のしかた . . . . . 14**
刈取作業の手順 . . . . . 14
ほ場の旋回のしかた . . . . . 18
こく粒の排出のしかた . . . . . 18
作業に合わせた各部の調節・調整のしかた 21

## メンテナンス

**各部のオープン（開閉）と脱着のしかた . 23**
刈取左，右サイドカバーの脱着 . . . . . 23
タンク右サイドカバーの脱着 . . . . . 23
**各部の掃除と注油のしかた . . . . . 24**
各部の掃除 . . . . . 24
各部の注油 . . . . . 26
**定期点検 . . . . . 27**
各部ベルトの点検･調整 . . . . . 27
刈取搬送変速ベルト . . . . . 28
各部チェーンの点検･調整 . . . . . 29
刈取搬送駆動チェーン . . . . . 30
刈取搬送カウンタチェーン . . . . . 30
RC オーガ駆動チェーン . . . . . 30
フィーダ搬送チェーン . . . . . 31
ランプ（電球）の点検･交換，ホーンスイッチの点検 . . . . . 32
**刈取作業後の手入れ . . . . . 33**
長期格納時 . . . . . 33

## コンバインの不調と処置

## 付表

**主要諸元 . . . . . 36**
**付属部品 . . . . . 38**
**オプション（別売品）（純正品を使いましょう）. . . . . 38**
金時豆キット . . . . . 38
大豆キット . . . . . 38
格子受網２枚キット . . . . . 38
**消耗部品（純正品を使いましょう）. . . . . 39**

# ⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

**本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。**

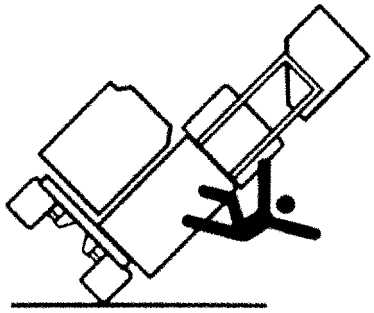
## 安全作業をするため次のことがらを必ず守ってください

### ◆ 作業時の注意事項

**⚠リフトアップタンクのリフト作業及びこく粒排出作業を行なうときは，走行を停止し，平坦な場所で行なう。**

- 平坦な場所に駐車して作業を行なう。
- リフトアップタンクを上昇しての走行は行なわない。
- 周囲の安全を確認し，運転席に座ってリフト作業を行なう。
- リフト作業及びこく粒排出作業中は，走行操作及び，水平操作レバーを操作しない。

**［守らないと］機体のバランスをくずして転倒するおそれがあります。**

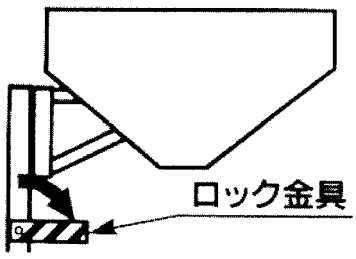


1ASADABP0610

### ◆ 点検整備時の注意

**⚠リフトアップタンクを上げて点検・整備・掃除を行なうときは，ロック金具でリフトアップタンクの落下防止ロックをする。**

**［守らないと］機体にはさまれて，傷害を負うおそれがあります。**




1ASADABAP0620

## 安全作業するための表示ラベル

### ◆ ⚠表示ラベルの内容・貼付位置

[CL仕様]

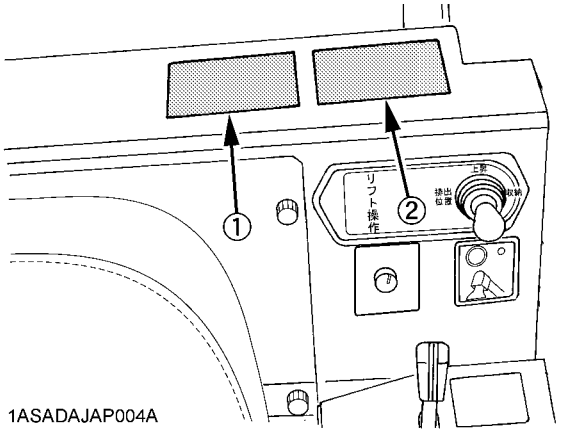
①品番　5T000-4336-1

**⚠ 危険**

1．リフト作業は周囲を十分確認して、運転席において一人作業で行うこと
2．穀粒排出時、機械の位置合わせを行う場合タンクを下げた位置で行うこと
- もしタンクを上げた位置で機械を移動すると車速0.3m／s以上になると警告音が鳴りさらに車速0.5m／s以上になるとエンジンが停止します

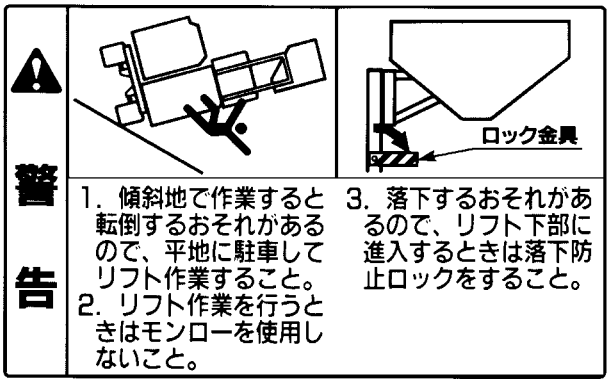
3．平坦な場所でリフト作業を行うこと
- 機体傾斜角が3度以上になると警告音が鳴りリフトも上昇しません

1ASADABAP070J



1ASADAJAP004A

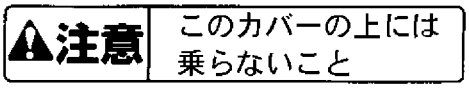
②品番　5T000-4396-1



1ASADABAP071J

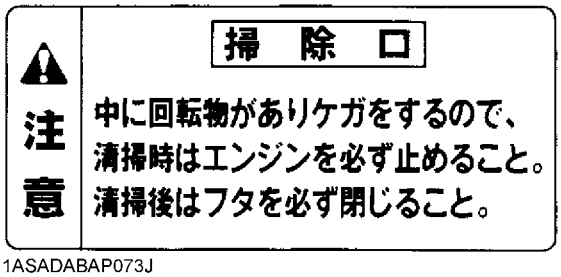
[CL仕様]

③品番　51870-3942-3

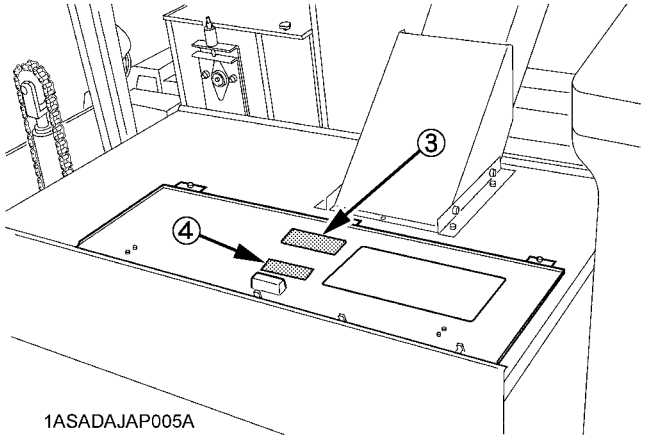


1ASADABAP072J

④品番　53981-6434-1

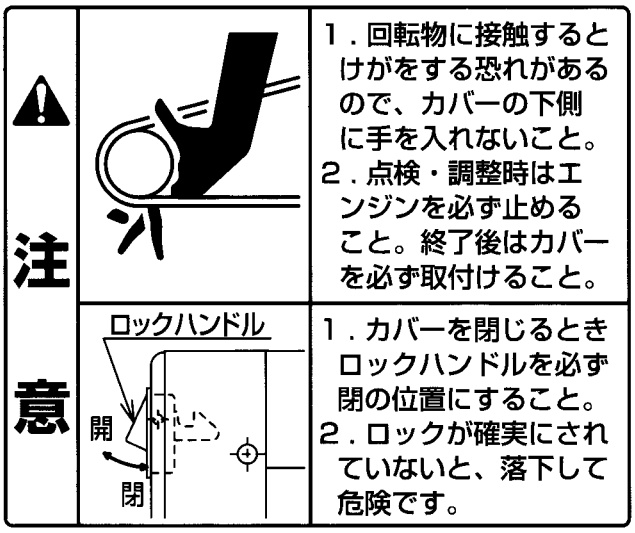


1ASADABAP073J

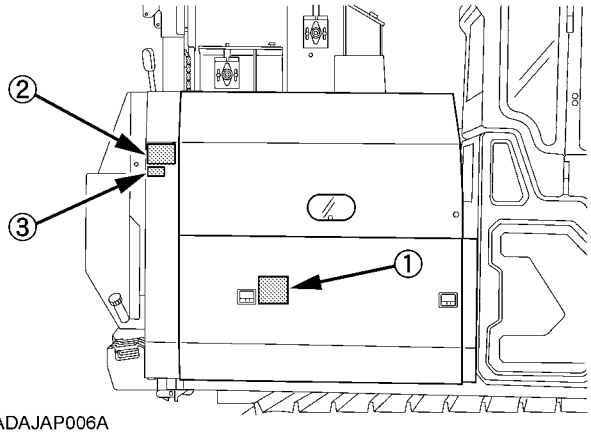


1ASADAJAP005A

①品番　5K275-6433-1

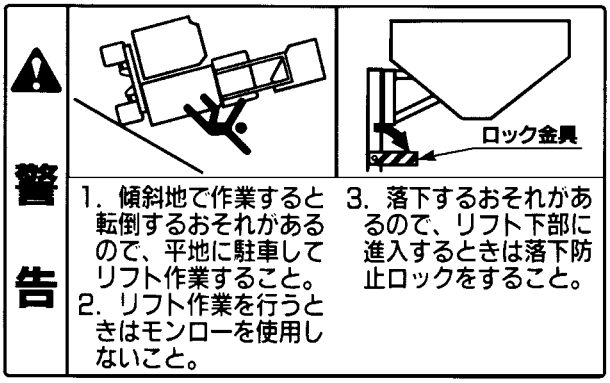


1ARADBLAP2740



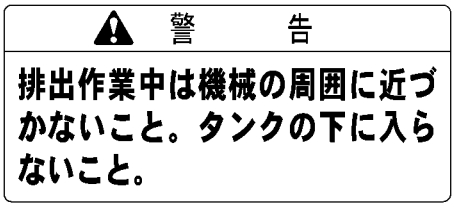
1ASADAJAP006A

②品番　5T000-4396-1



1ASADABAP071J

③品番　5T000-4389-1

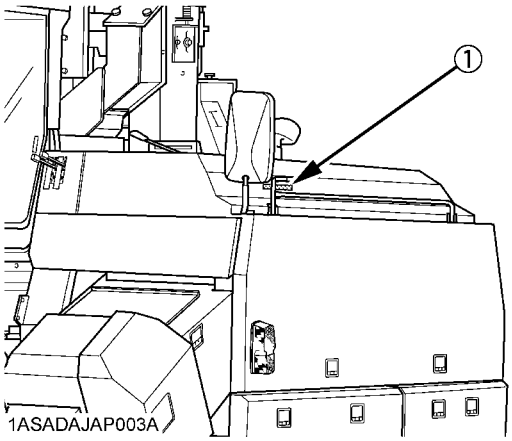


1ASADABAP076J

---

①品番　5T040-4385-1

1ASADAHAP040J



1ASADAJAP003A

## 表示ラベルの手入れ

**■表示ラベルをよく読み理解して，安全注意事項を守る**

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにする。
- ⚠ 表示ラベルがよごれた場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布でふく。
  シンナーやアセトンなどの溶剤を使うと，文字や絵が消えることがあります。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあるので，高圧水を直接ラベルにかけない。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替える。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付面の汚れを完全にふき取り，乾いた後，もとの位置に貼る。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換する。

# サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

### ◆ ご相談窓口
別冊の本機編を参照してください。

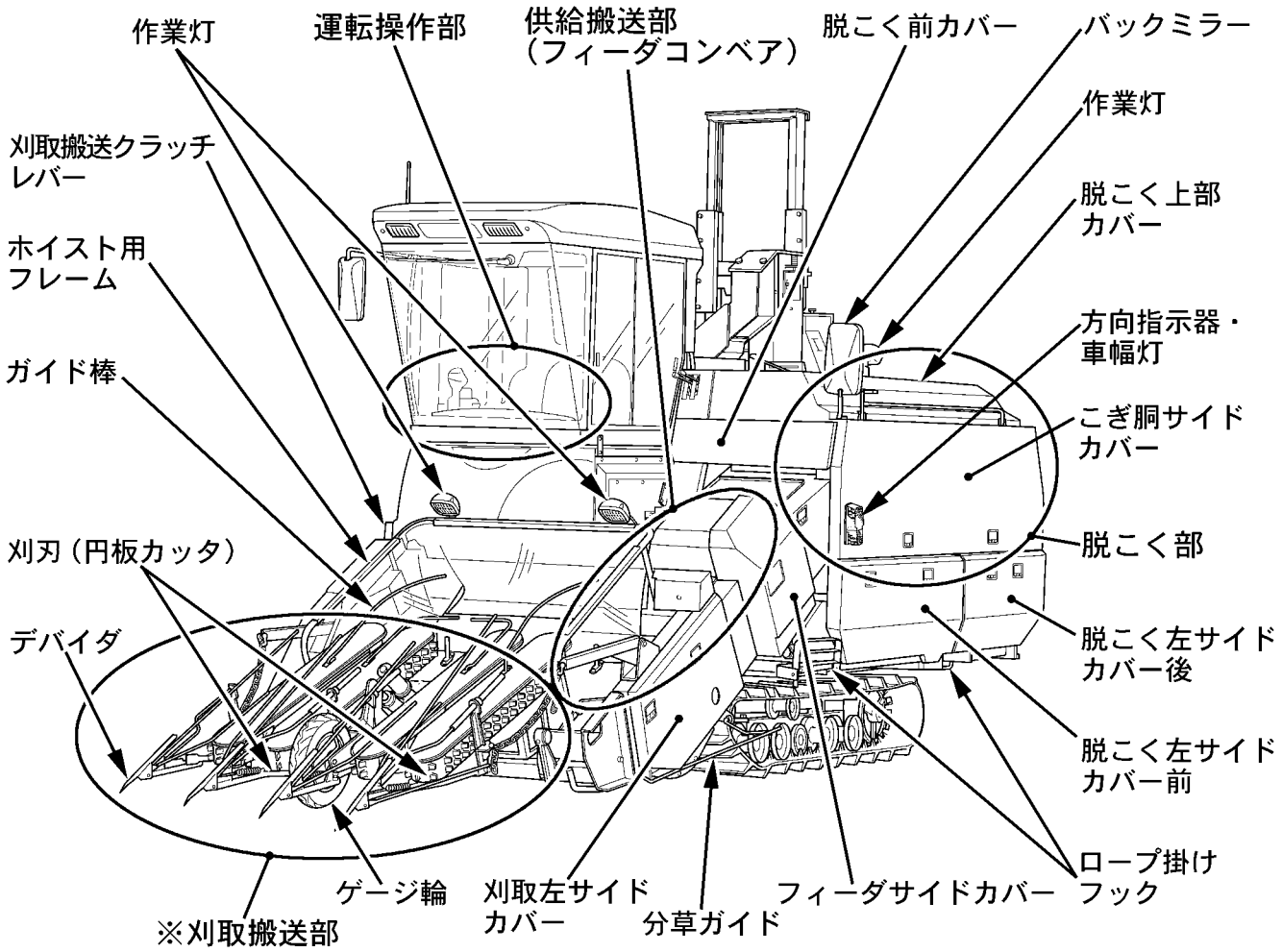
### ◆ 認定番号
安全鑑定の農機型式及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

| 農機型式名 | 安全鑑定番号 | 対象型式区分 |
|---|---|---|
| R0801G | 33007 | ARH430RC-CG |
| R0801L | 33084 | ARH430RC-CL |

### ◆ 補修用部品の供給年限について
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後９年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期などについてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了いたしますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

# 装置の名称と取扱い

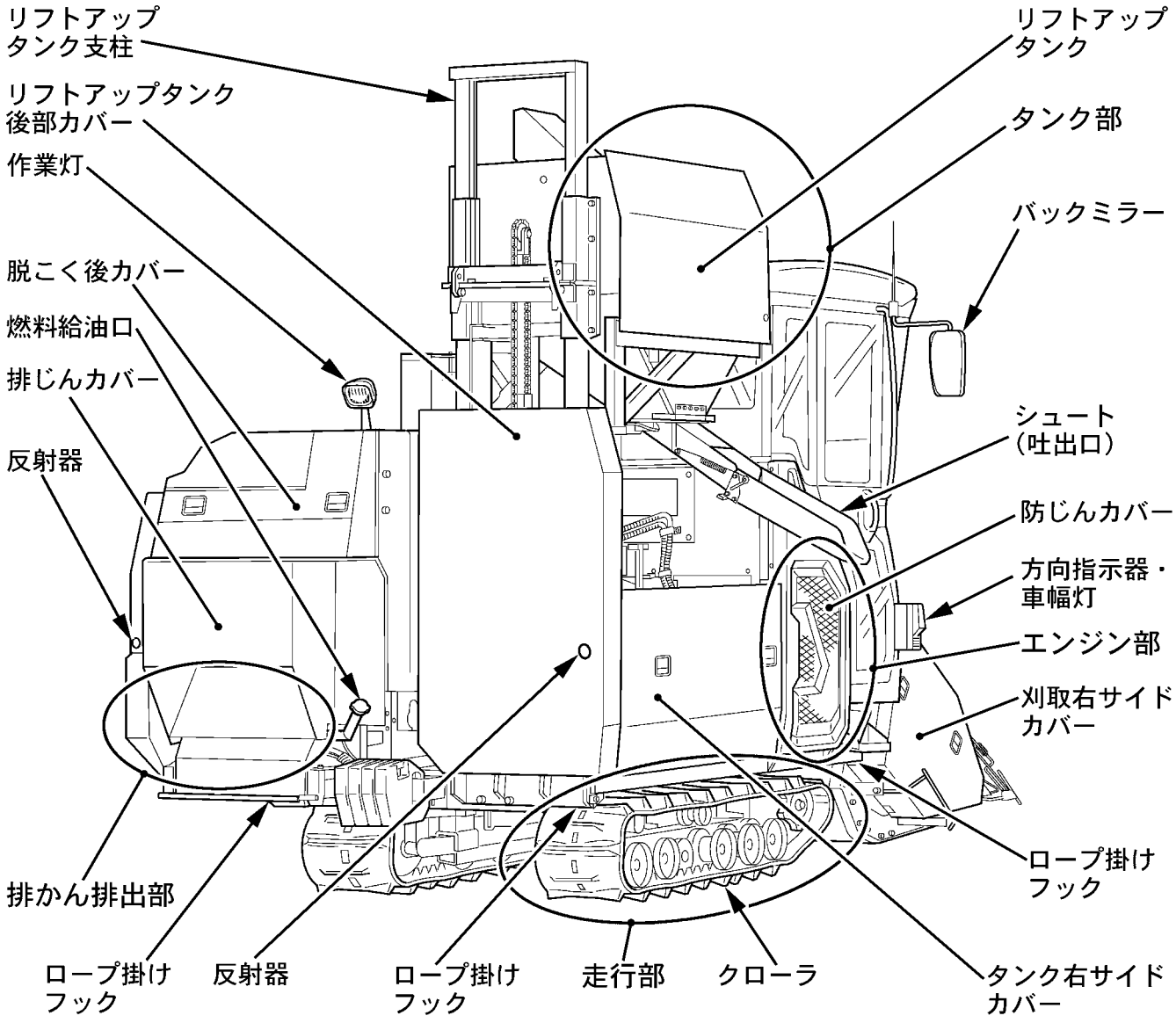
## 装置の名称と各部のはたらき




1ASADAJAP003B

- **運転操作部**……エンジンの始動・停止や移動走行・刈取作業の運転操作を行なうところ
- **刈取搬送部**……作物の刈取りと引起し及び搬送を行なうところ
- **供給搬送部**……作物を脱こく部へ搬送するところ
  **（フィーダコンベア）**
- **脱こく部**……作物の脱こくを行なうところ

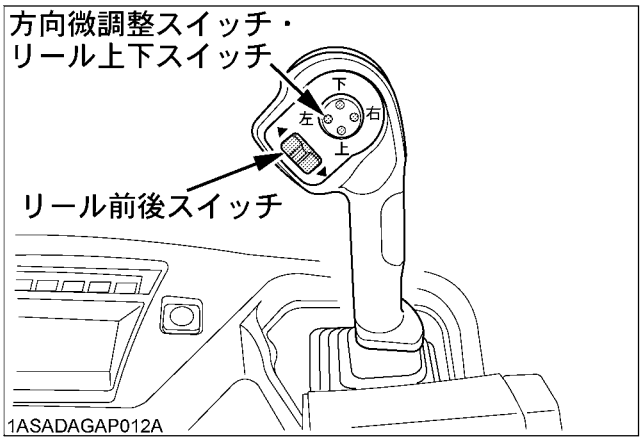
※ 刈取搬送部はオプション（別売品）です。この取扱説明書は，取扱い操作のみを記載していますのでオプション（別売品）に付属している取扱説明書と合わせてよくお読みください。

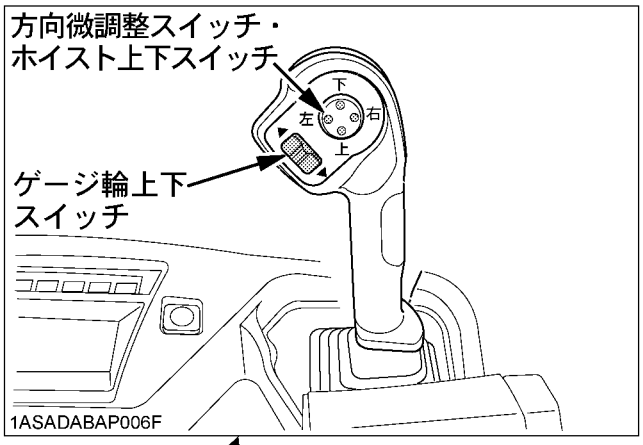


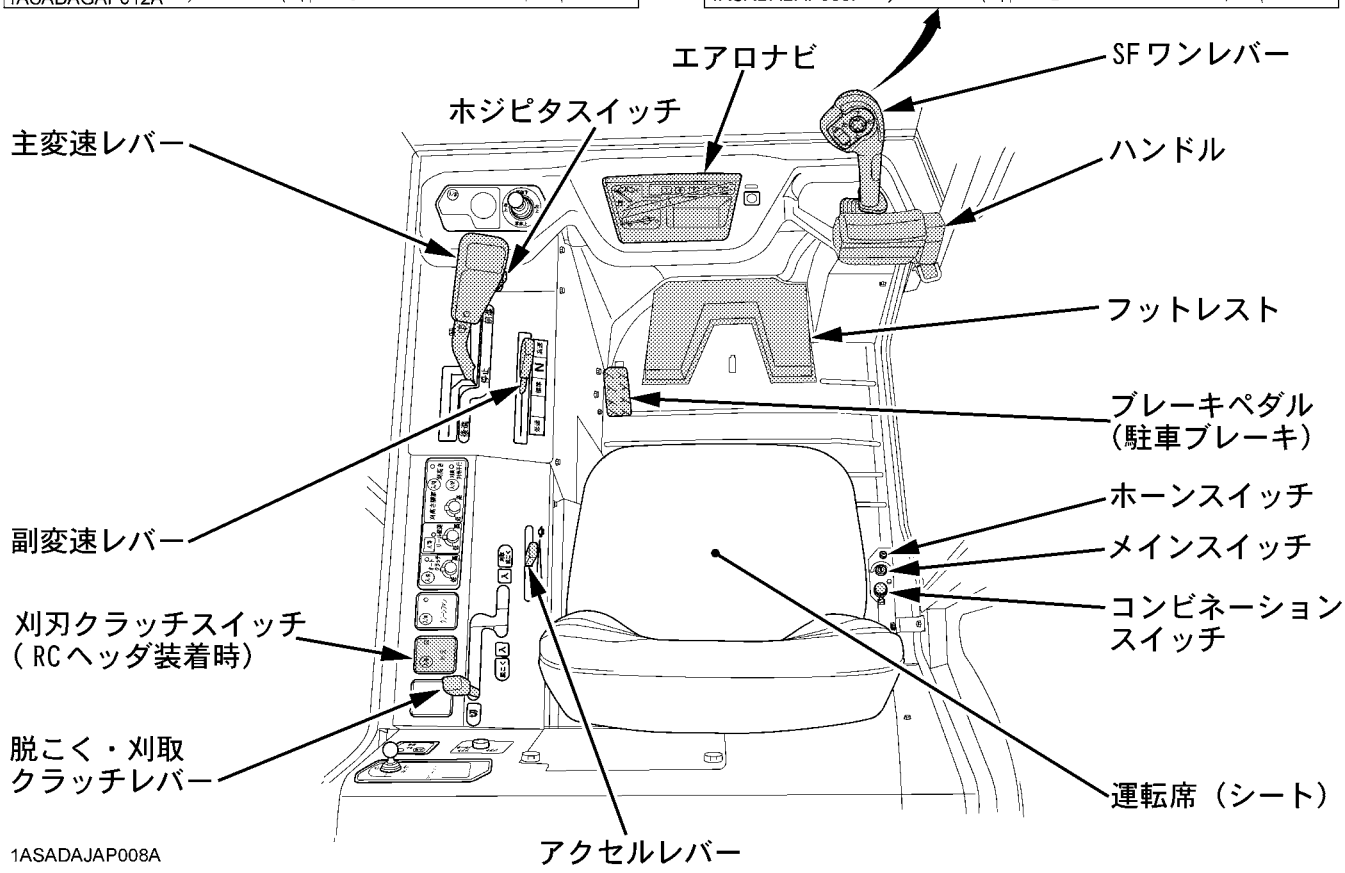

1ASADAJAP007A

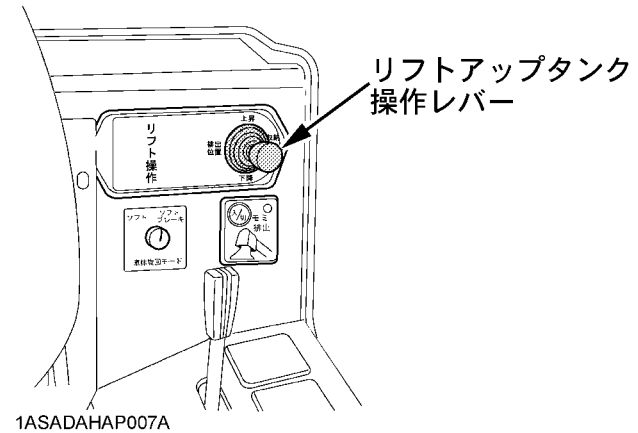
- **エンジン部**……運転席下部にある動力装置
- **走行部**……クローラにより走行を行なうところ
- **タンク部**……脱こくで精選されたこく粒を一時貯蔵したあとシュート排出を行なうところ
- **排かん排出部**……排かんの排出を行なうところ

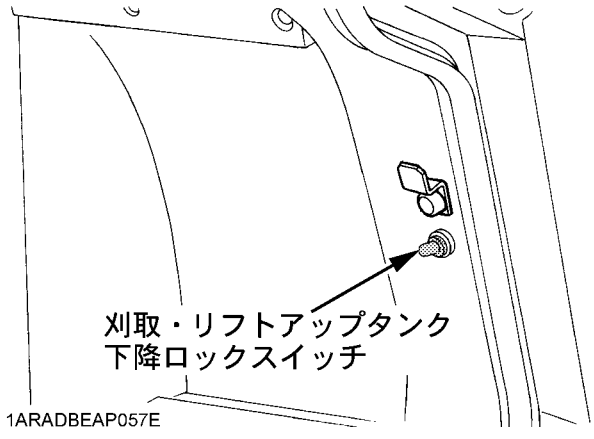
（RCヘッダ装着時）


方向微調整スイッチ・
リール上下スイッチ
下
左
右
上
リール前後スイッチ
1ASADAGAP012A


方向微調整スイッチ・
ホイスト上下スイッチ
下
左
右
上
ゲージ輪上下
スイッチ
1ASADABAP006F


エアロナビ
SFワンレバー
ホジピタスイッチ
主変速レバー
ハンドル
フットレスト
ブレーキペダル
（駐車ブレーキ）
ホーンスイッチ
メインスイッチ
副変速レバー
コンビネーション
スイッチ
刈刃クラッチスイッチ
（RCヘッダ装着時）
脱こく・刈取
クラッチレバー
運転席（シート）
アクセルレバー
1ASADAJAP008A

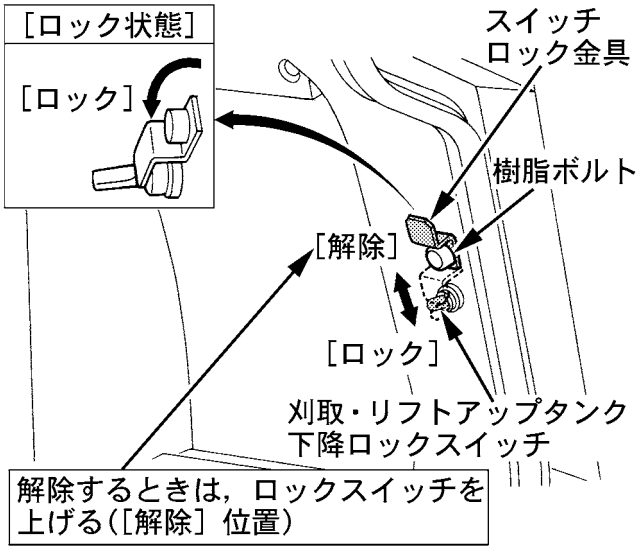

リフトアップタンク
操作レバー
リフト操作
1ASADAHAP007A


刈取・リフトアップタンク
下降ロックスイッチ
1ARADBEAP057E

## ◆ 走行・操作関係

### ■刈取・リフトアップタンク下降ロックスイッチ

刈取部及びリフトアップタンクの下降防止を行なうロックスイッチです。ロックスイッチを下げる（**[ロック]** 位置）と SF ワンレバーを操作しても刈取部及びリフトアップタンクは下降しません。




1ARADBEAP057F

**補　足**

＊ ロックスイッチを下げたときは，必ずスイッチロック金具でロックスイッチを固定し解除防止を行なってください。スイッチロック金具は樹脂ボルトをゆるめて動かしてください。

＊ エンジンを始動しないと刈取部及びリフトアップタンクは**上昇又は，下降**しません。

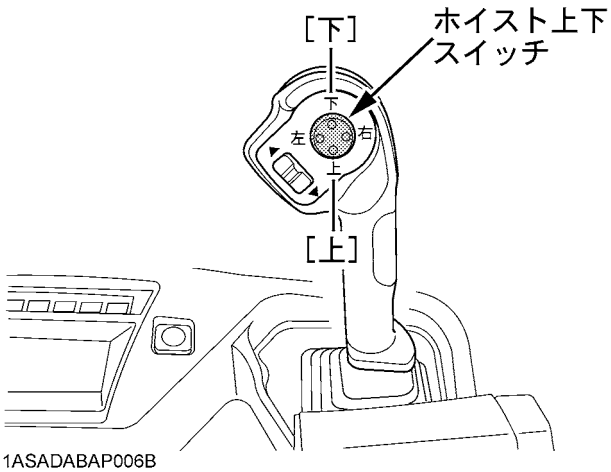
## ◆ 刈取搬送関係

### ■ホイスト上下スイッチ（RC ヘッダ装着時）

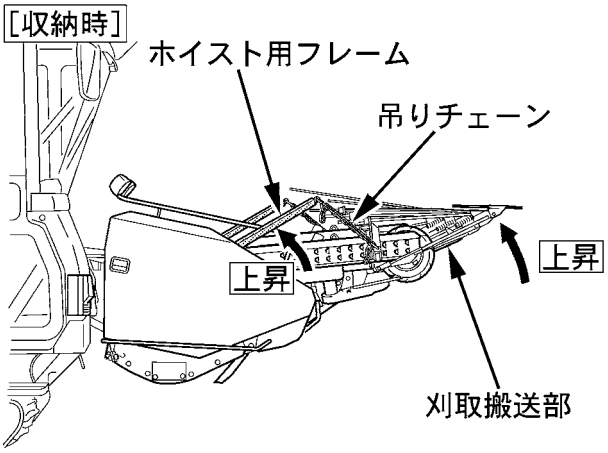
刈取搬送部の**上昇又は，下降**（収納時・作業時）の操作を行なうスイッチです。

**[ 上昇 ]**…… ホイスト用フレームが上昇し，左右の吊りチェーンが引上げられて刈取搬送部が上昇します。

**[ 下降 ]**…… ホイスト用フレームが下降し，刈取搬送部のゲージ輪が地面に着くと左右の吊りチェーンがたるみます。

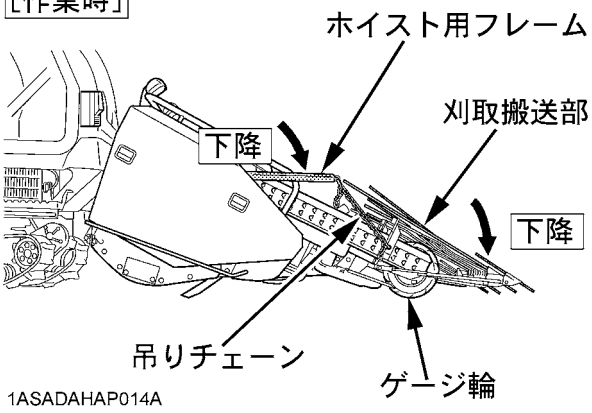



1ASADABAP006B




1ASADAHAP013A

［作業時］




1ASADAHAP014A

**補　足**

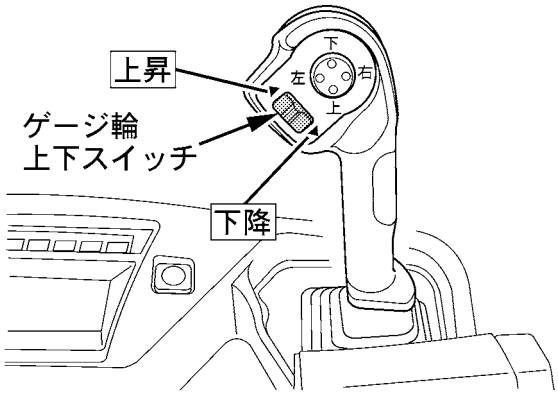
＊ 刈取・フィーダ部を上昇するときは，必ず刈取搬送部を上昇させてから行なってください。

**■ゲージ輪上下スイッチ（RC ヘッダ装着時）**

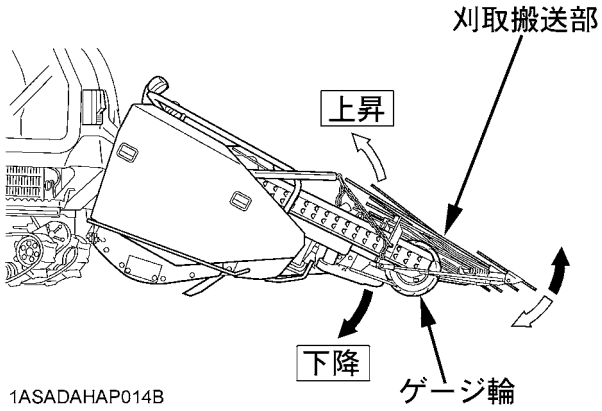
ゲージ輪の**上昇［▲］**又は，**下降［▼］**を行なうスイッチです。ゲージ輪を上昇又は，下降することにより，うねに対して刈高さの微調整を行なってください。

**［▲］（上昇）**… ゲージ輪が上昇し，刈取搬送部が下降します。

**［▼］（下降）**… ゲージ輪が下降し，刈取搬送部が上昇します。



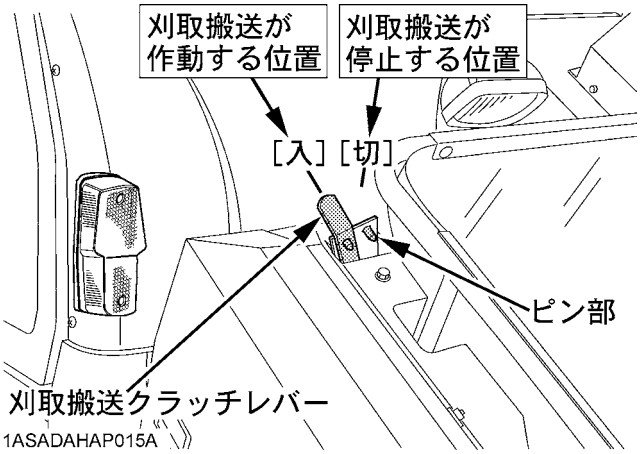

1ASADABAP006C




1ASADAHAP014B

**■刈取搬送クラッチレバー**

刈取搬送部の動力を**入／切**するクラッチレバーです。




1ASADAHAP015A

### ■刈刃クラッチスイッチ（RC ヘッダ装着時）

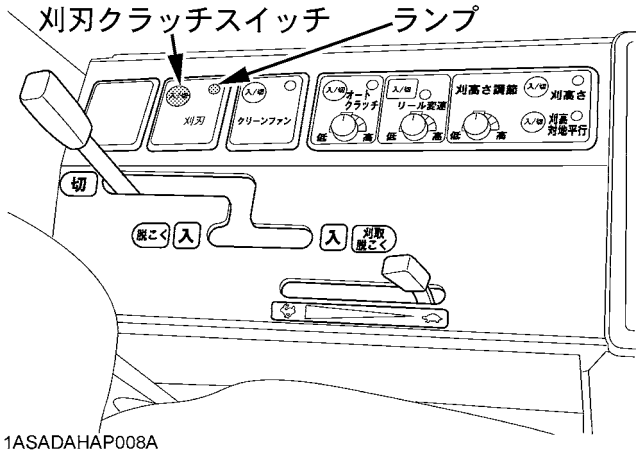
刈刃（円板カッタ）の**入／切**を行なうスイッチです。スイッチを操作すると，液晶ディスプレイに刈刃**［入］／［切］**を一定時間表示します。

**刈刃スイッチ［入］**……

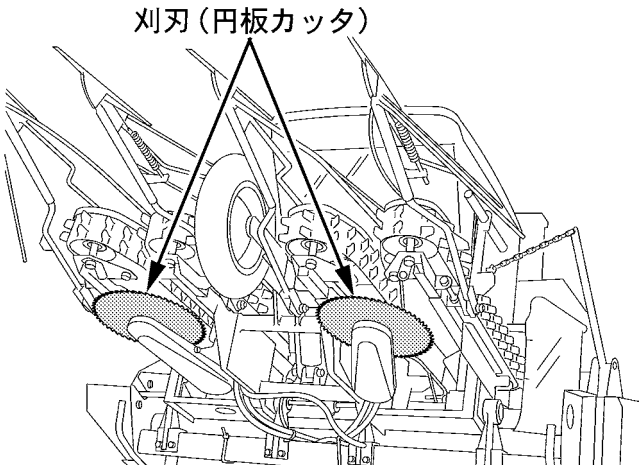
ランプが点灯し，刈刃（円板カッタ）が回転します。

**刈刃スイッチ［切］**……

ランプが点灯し，刈刃（円板カッタ）の回転が停止します。




1ASADAHAP008A

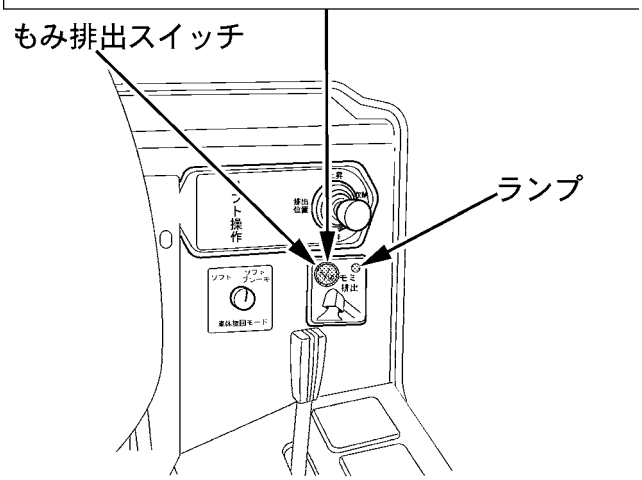



### ◆ リフトアップタンク関係

### ■もみ排出スイッチ

リフトアップタンク内のこく粒の排出操作を行なうスイッチです。

押すとランプが点滅し，リフトアップタンクのシャッタが開いてこく粒を排出し，もう１度押すとランプが点灯し，シャッタが閉じます。



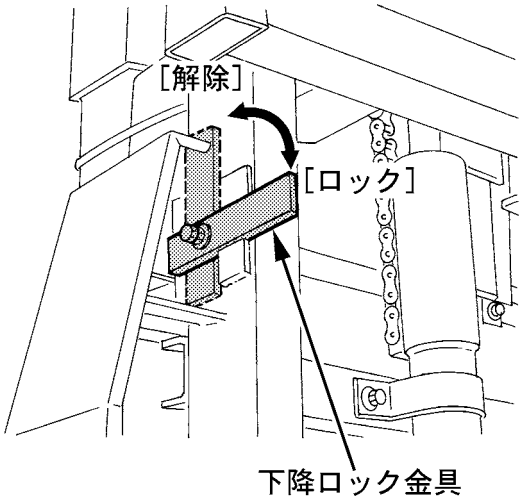

1ASADAHAP007B

**補　足**

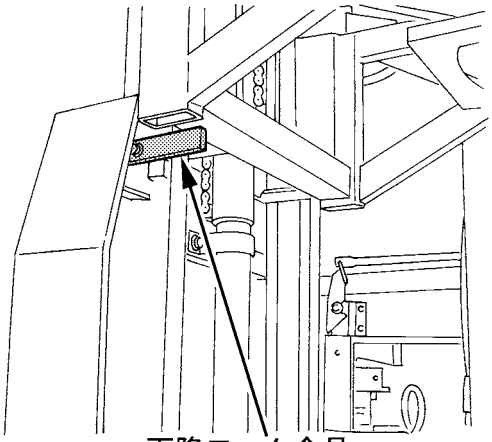
＊ シュートが収納状態では排出スイッチを押してもシャッタは開きません。また，このときピッピッと警告音が鳴り，液晶ディスプレイに**［吐出口を開ける］**と表示しますので排出シュートを**［排出位置］**にしてください。

### ■リフトアップタンク下降ロック金具

点検・整備・掃除などでリフトアップタンクを上げた状態で作業を行なうとき，リフトアップタンクの下降防止を行なうロック金具です。




1ASADABAP044A



1ASADABAP043A

下降ロック金具

### ■リフトアップタンク操作レバー

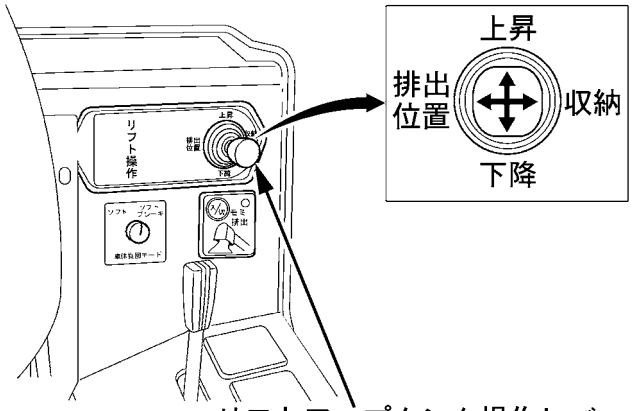
リフトアップタンクの上昇・下降及び，こく粒排出の準備を行なう操作レバーです。

**［上昇］**…… リフトアップタンクが上昇します。

**［下降］**…… リフトアップタンクが下降します。

**［排出位置］**… シュートが排出位置に回動します。（排出状態）

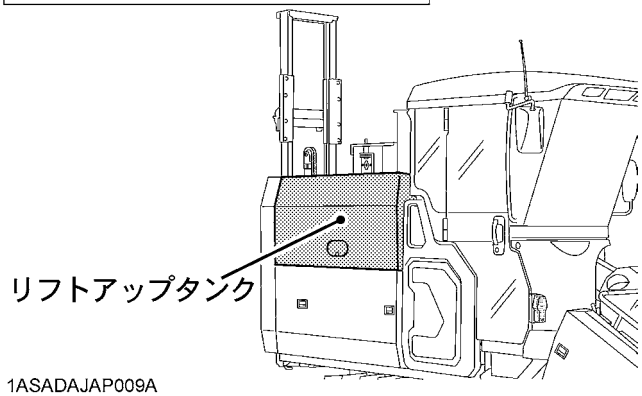
**［収納］**…… シュートが収納位置に回動します。（シュート収納状態）




1ASADAHAP007C

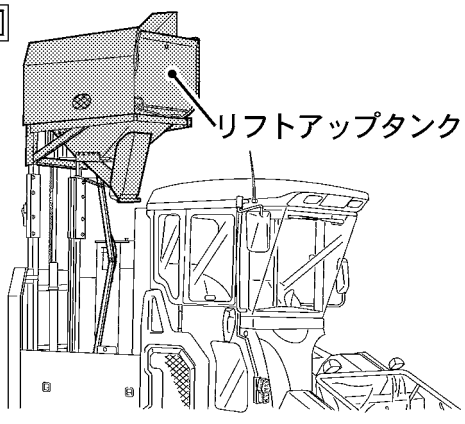
リフトアップタンク操作レバー

［最下降位置］（タンク収納状態）



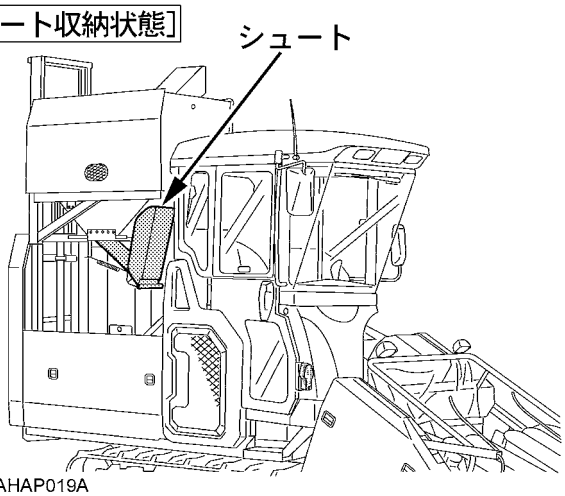

1ASADAJAP009A

［最上昇位置］



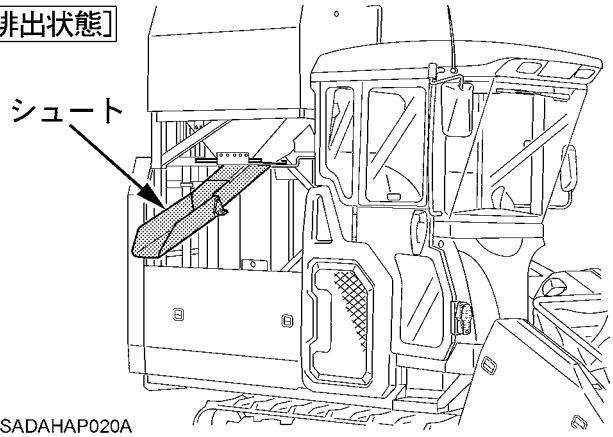

1ASADAJAP010A

［シュート収納状態］




1ASADAHAP019A

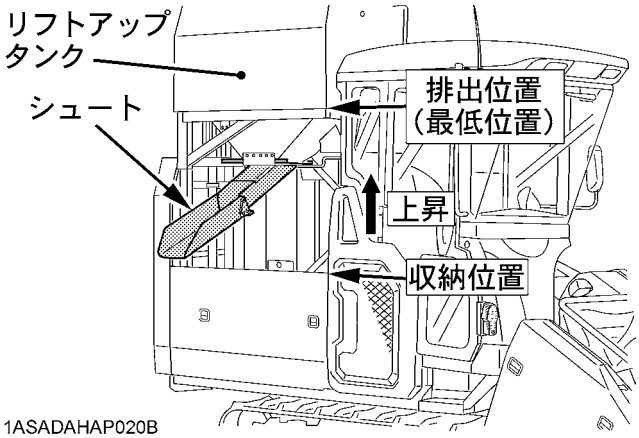
［排出状態］




1ASADAHAP020A

**補　足**

＊ シュート先端部が地上から約１ｍ以上の位置までリフトアップタンクを上昇しないと，シュートは回動しません。




1ASADAHAP020B

＊ 排出シャッタが開いている状態やシュートが排出状態のとき，操作レバーを**【下降】**側に操作するとピッピッと警告音が鳴り，液晶ディスプレイに**【吐出口を閉じる】**と表示しますので，シュートを収納状態にしてください。

＊ 排出作業時，地上からシュート先端部の高さは，最上昇位置で約 2.1m です。

# 移動走行と輸送

## 移動走行について

このコンバインは,道路運送車両の保安基準に適合していませんので,法令により公道は走行できません。従って，公道を移動するときはトラックなどで輸送してください。

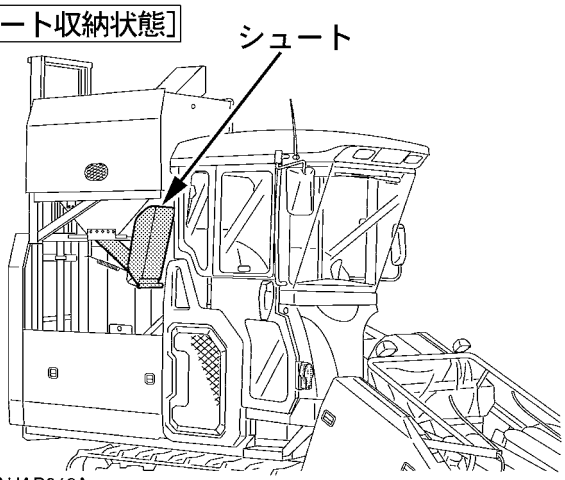
### ■走行前の準備

**注　意**

**＊ 平坦で安全な場所で，エンジンを必ず止めて，メインスイッチのキーを抜いてから行なってください。**
**＊ 準備が終われば，カバー類などが確実に取付けられているか確認してください。**

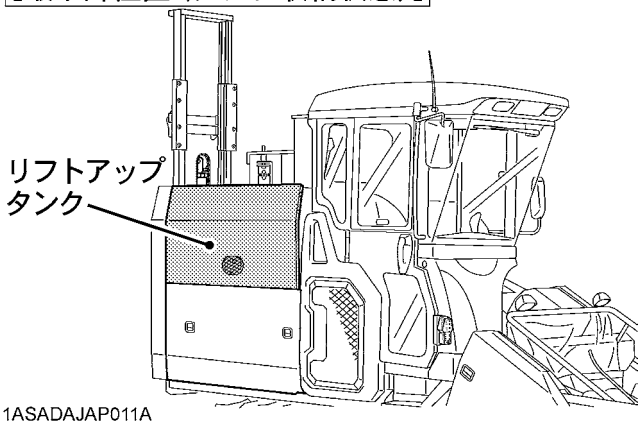
1. リフトアップタンク内に残っているこく粒は，すべて排出します。
2. こく粒排出のシュートを収納したあと，リフトアップタンクを**最下降位置**（収納位置）にします。

［シュート収納状態］




1ASADAHAP019A

［最下降位置（タンク収納状態）］

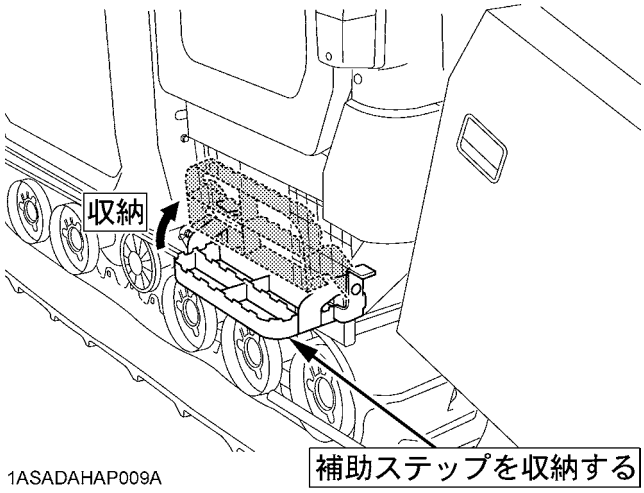



1ASADAJAP011A

**補　足**

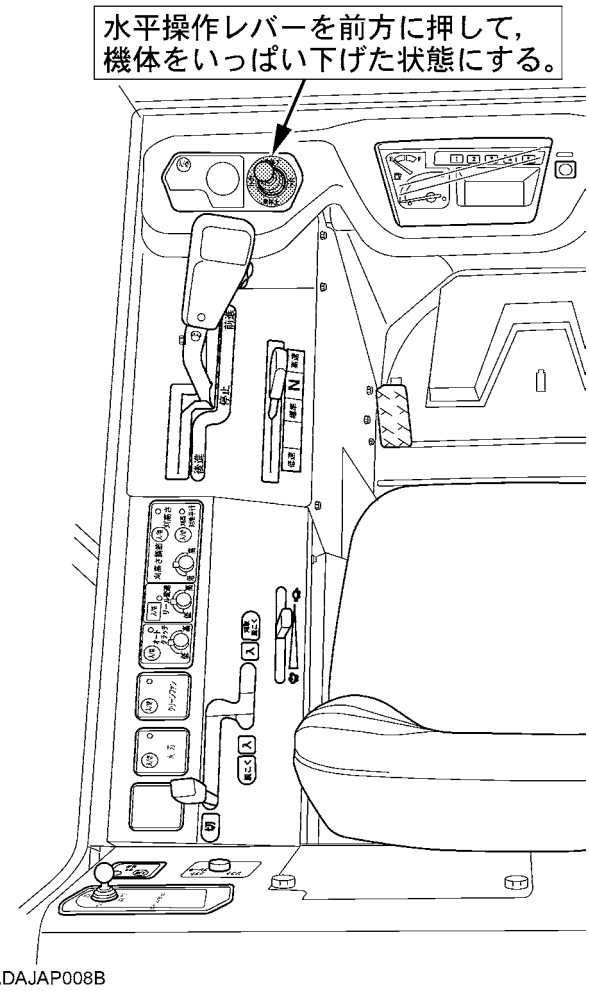
＊ リフトアップタンクが地上から約１ｍ以上上昇している状態で走行すると，走行速度が0.3m/s になると，ピッッピッッと警告音が鳴り，0.5m/s になるとエンジンが自動停止します。

3. 補助ステップを収納します。



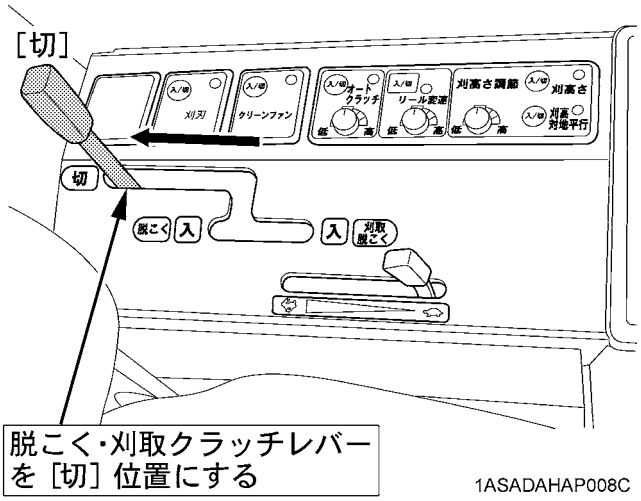

1ASADAHAP009A

4. 自動車体水平制御スイッチを**［切］**にし，水平操作レバーで機体をいっぱい下げます。




1ASADAJAP008B

5. 脱こく・刈取クラッチレバーを**［切］**位置にします。




## ■発進のしかた

**注　意**

**＊ 発進をするときは，周囲の安全を確かめてホーンなどで合図を行なってから発進してください。**
**＊ 急発進は危険ですので，ゆっくりと発進してください。**

### 1． 運転席，バックミラーの調整を行ないます。

1. 運転席の調整を行ないます。
（別冊本機編参照）

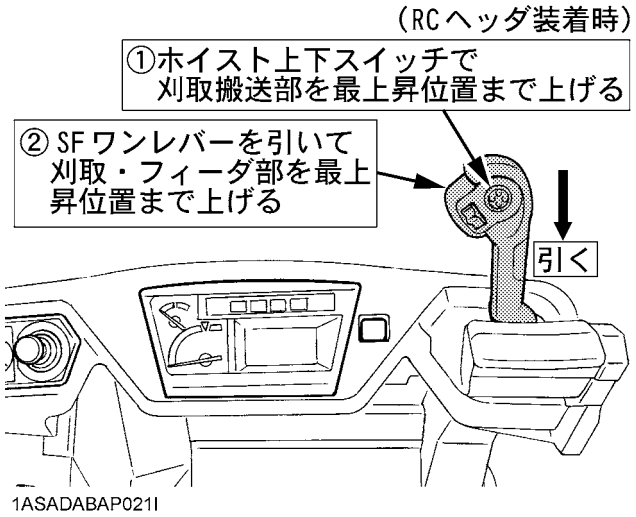
### 2． バックミラーを調整します。

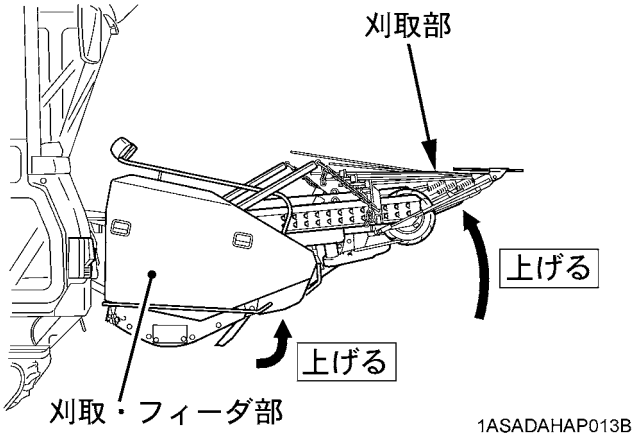
（別冊本機編参照）

### 3． アクセルレバーを操作します。

（別冊本機編参照）

### 4． 刈取部を上げます。




### 5． 走行速度を選んで発進します。

（別冊本機編参照）

# 収穫作業のしかた（RC ヘッダ装着時）

## 作物とほ場の条件

作物の収穫量を上げるにはコンバインに合わせた，ほ場のうね作り・排水管理や作付け・栽培管理及び，適期収穫についてそれぞれ適した作業を行なってください。

**補　足**

＊ 作物の品種・収穫時期・栽培管理やほ場の管理のしかたなどは，最寄りの指導機関（JA 農協や普及センターなど）や経験者に相談してください。

### ■作物の倒状とほ場の傾き

#### ◆ 作物の倒伏

別冊の本機編を参照してください。

**補　足**

＊ 刈取れる倒伏角範囲について，小豆は大豆の倒伏角範囲と同じです。

#### ◆ ほ場の傾き

別冊の本機編を参照してください。

#### ◆ 収穫適期

大豆については，別冊の本機編を参照してください。

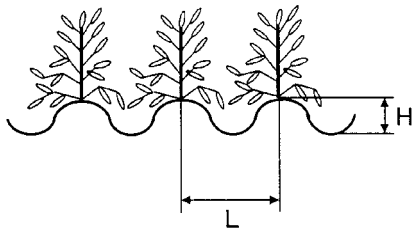
小豆については，最寄りの指導機関や経験者に相談してください。

### ■うね（ほ場）づくりについて

収穫作業を効率よく行なうため，コンバインに合わせたうねづくりをしてください。また，枕地は旋回が楽に行なえるように広くしてください。うねづくりの際は，うね高さを均一にし，うね間に凹凸のないようにしてください。

#### ◆ 適応収穫範囲

本機で収穫できる範囲は，下表の通りです。下表を参考にしてうねづくりを行なってください。

| 範　　囲 |  <br>1ASADABAP023A |
|---|---|
| うね高さH | 10～15cm |
| うね幅 L | 2尺(約60cm)又は,2尺2寸(約66cm) |

**補　足**

＊ 刈取部の条間（うね幅と同じ）は，約　60cm（２尺）と約 66cm（２尺２寸）の２種類ありますので，購入されたコンバインの条間を確認してください。

## コンバインの準備

**警 告**

**＊ 平坦な場所に置き，エンジンを必ず止めて，メインスイッチのキーを抜いてください。**
**＊ 取外したカバー類は必ず取付けてください。**

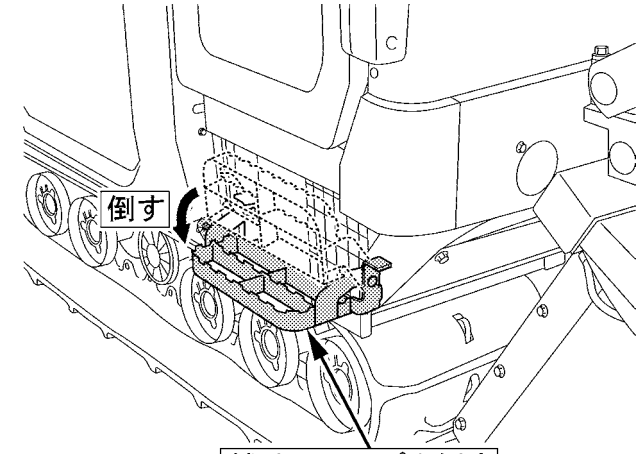
### ■準備のしかた

#### 1． 各部への注油

作業前に刈刃や各チェーンに注油を行なってください。

#### 2． 補助ステップのセット

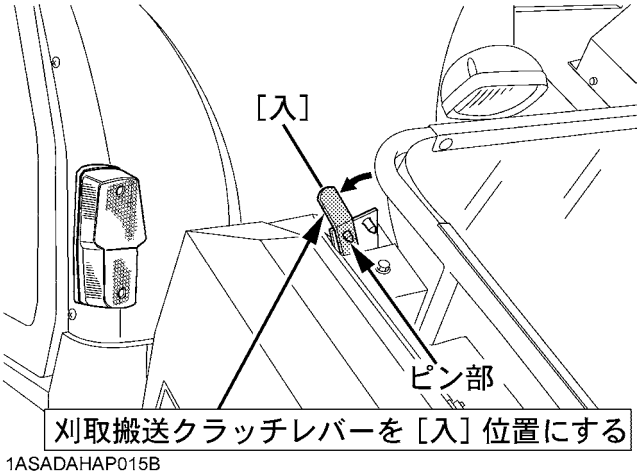
補助ステップを下側へ倒します。




1ASADAGAP353C

#### 3． 刈取搬送クラッチレバーのセット

刈取搬送クラッチレバーを前方にいったん押したあと，ピン部に差込んで**【入】**位置にします。




1ASADAHAP015B

# 収穫作業のしかた（RC ヘッダ装着時）

## 刈取作業のしかた

### ■刈取作業の手順

**注　意**

**＊ 異常が発生したときは，エンジンを必ず止めて，メインスイッチのキーを抜いてください。**
**＊ 小さなほ場や，ほ場のすみでは作業がしにくいので，安全のため低速で注意しながら作業を行なってください。**
**＊ 夜間など暗い場所で作業するときは，ヘッドランプや作業灯を必ず点灯してください。**

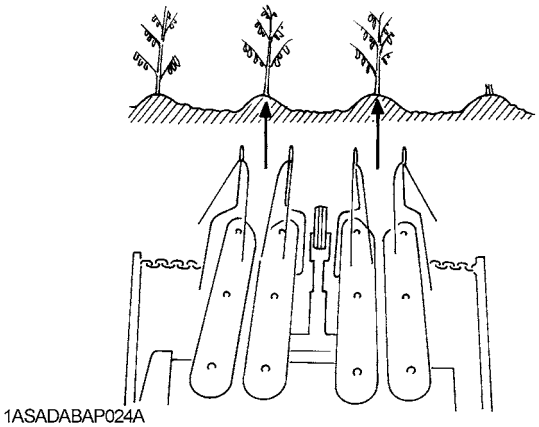
**重　要**

＊ 作業中エンジン周りの防じんカバーにゴミの付着が多くなれば，そのつど掃除してください。
防じんあみ全面にゴミが付着したまま作業を続けますと，エンジンのオーバヒートの原因になりますので注意してください。
＊ コンバインを停止するときは，排かんくずの上に止めないでください。マフラ排気口に排かんくずが触れると，火災のおそれがあります。
＊ 副変速レバーを**［高速］**位置にして刈取作業はしないでください。トラブルの原因になります。

1. ほ場に入ったら,刈始めのうねに10m前後入ったところで走行をいったん停止します。

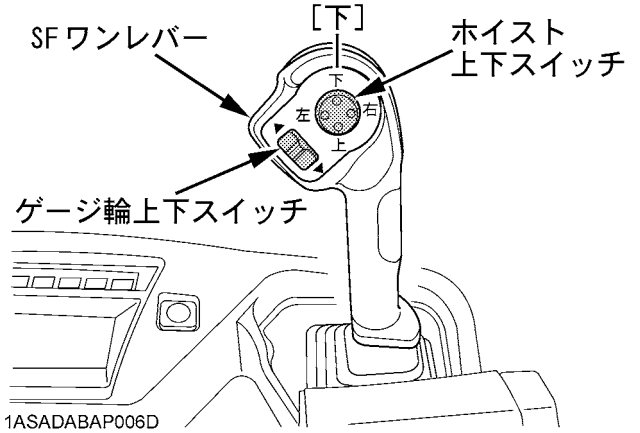
**補　足**

＊ 条合わせをするときは，下図のように作物とデバイダを同じ幅に合わせてください。

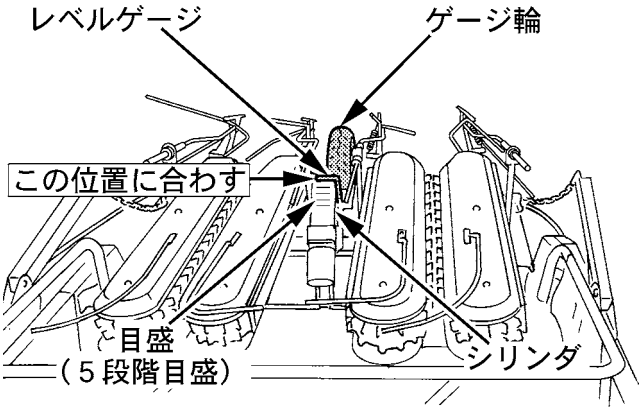

1ASADABAP024A

2. SF ワンレバーを操作し，フィーダ底部をうね上面から約 10cm くらい浮かせた位置にします。

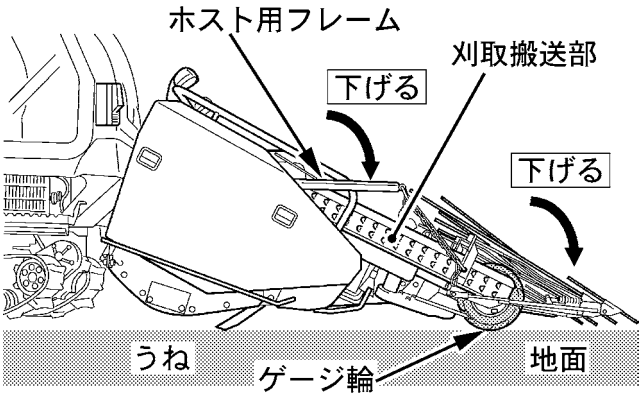
3. ホイスト上下スイッチを操作して，刈取搬送部の先端がうねに当たらない程度まで降ろしたあと，ゲージ輪上下スイッチを操作して，ゲージ輪レベルゲージが，シリンダに貼られている目盛（黄色の線で 5 段階の目安）の最前部の位置に合わせます。




1ASADABAP006D

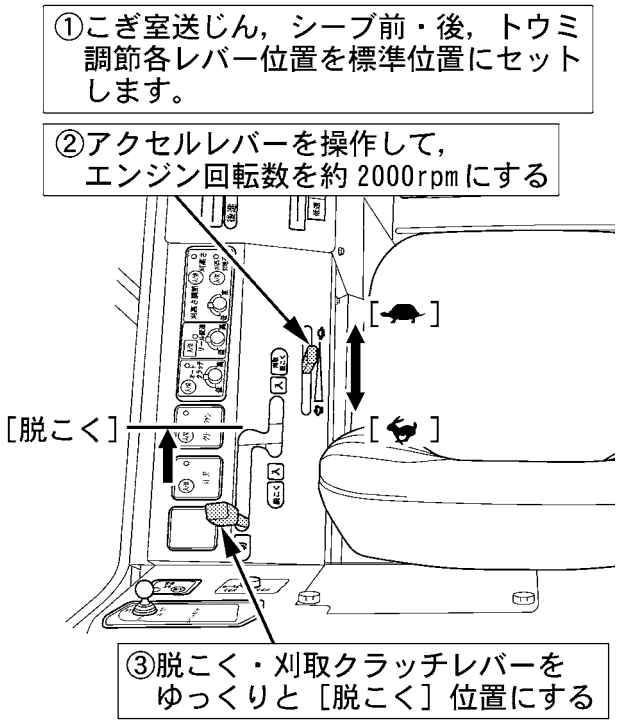



1ASADAHAP010A




1ASADAHAP014C

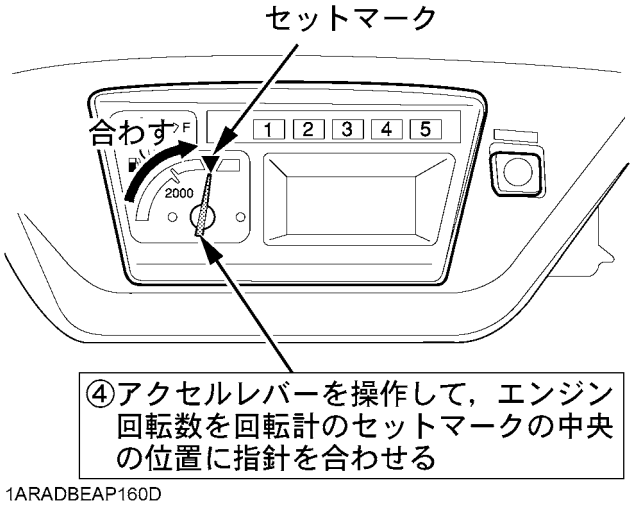
4. 各レバー・スイッチのセットとエンジン回転数の調節を行ないます。




1ASADAJAP008C

**重　要**

＊ エンジン回転数が 2200rpm 以上のとき，脱こく・刈取クラッチレバーを入れると駆動ベルトが破損するおそれがあります。

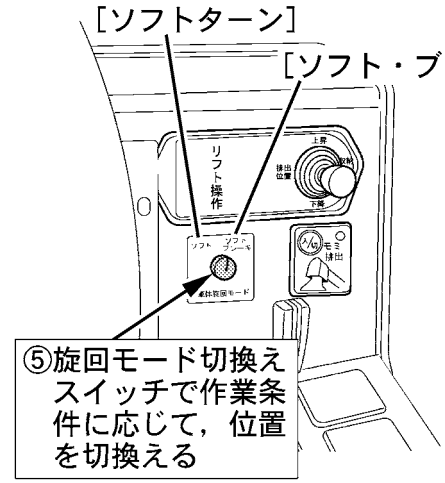



1ARADBEAP160D

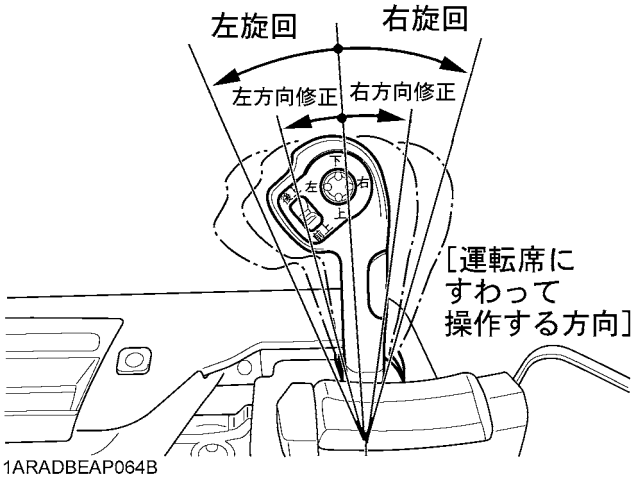
# 収穫作業のしかた（RC ヘッダ装着時）

**補　足**

＊ エンジン回転数は脱こく・刈取クラッチレバーを**【脱こく】**位置にし，走行を停止した状態で合わせてください。
＊ エンジン回転数が低すぎると，ブザーがなります。



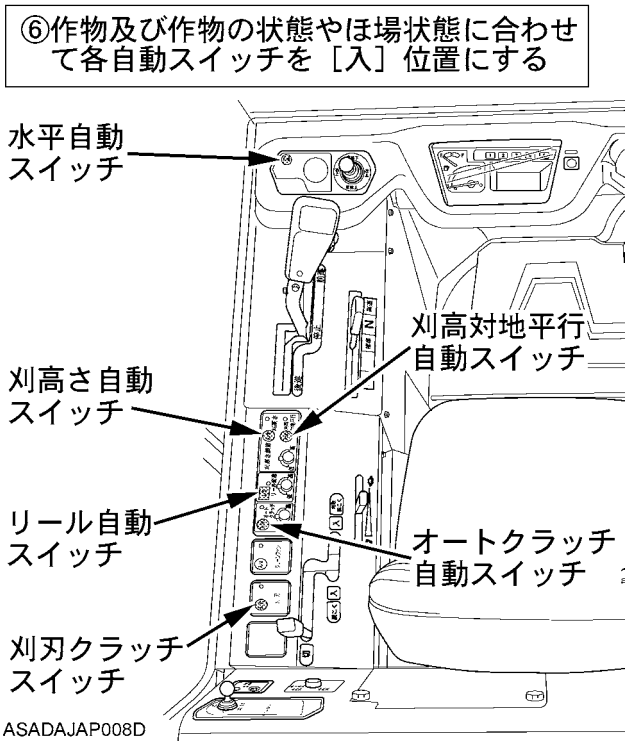
1ASADAHAP007D



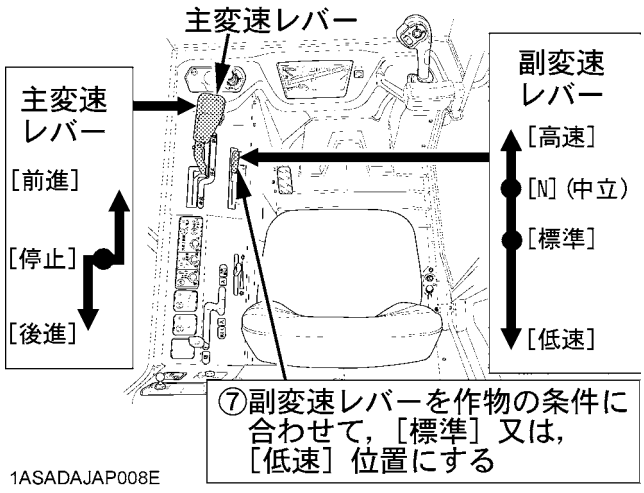
1ARADBEAP064B

**補　足**

＊ **［ソフト・ブレーキターン］**位置で作業を行なったとき，機体の振動が大きいとき，湿田での作業，ほ場の荒れが大きいときなど，**［ソフトターン］**位置に切換えてください。



1ASADAJAP008D



1ASADAJAP008E

**重　要**

＊ 副変速レバー**【高速】**位置での刈取作業はトラブルの原因になりますので，使用しないでください。
＊ 副変速レバーの切換えは平坦な場所で主変速レバーを**【停止】**位置にし，ブレーキペダルをいっぱいまで踏込み走行をいったん止めてから行なってください。故障の原因となります。

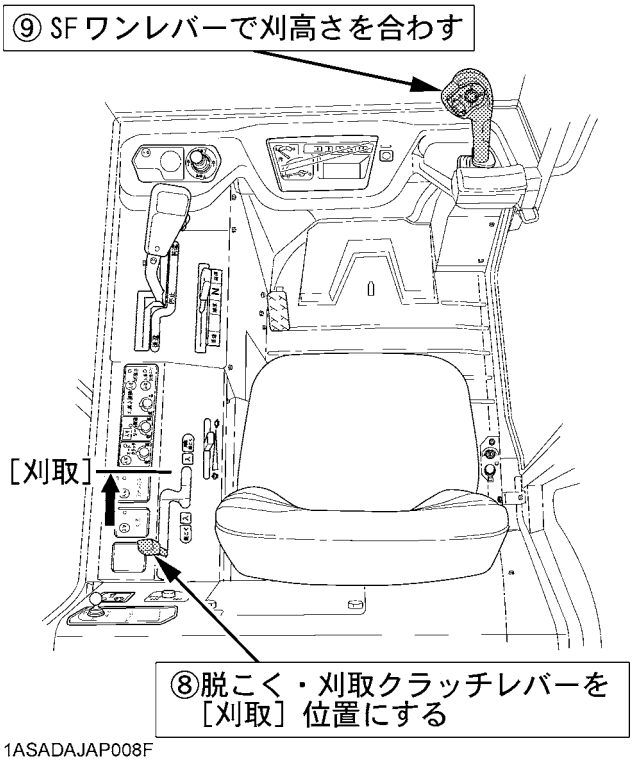
**補　足**

＊ 下記の目安の（作物の倒伏状態）表を参照してください。

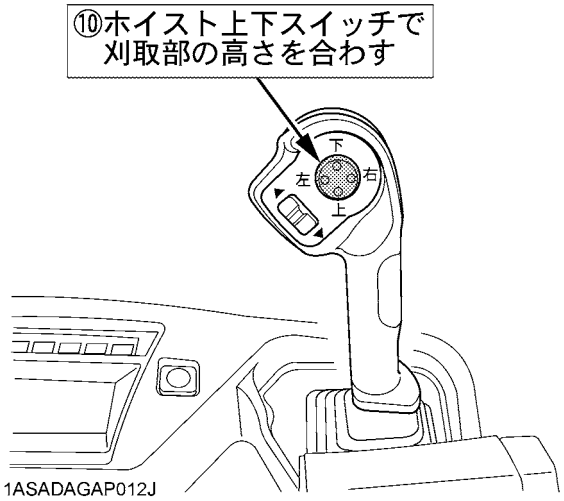
| 倒伏角 | 30 度未満 | 30 度以上 |
|---|---|---|
| 副変速レバー位置 | **［標準］** | **［低速］** |

＊ 副変速レバーが切換えにくいときは，主変速レバーを少し **［前進］** 側に動かして停止に戻してから切換えてください。

＊ 刈始めや第 1 周目の回り刈りを行なうときは，**【低速】** 位置にして刈取りを行なってください。




1ASADAJAP008F

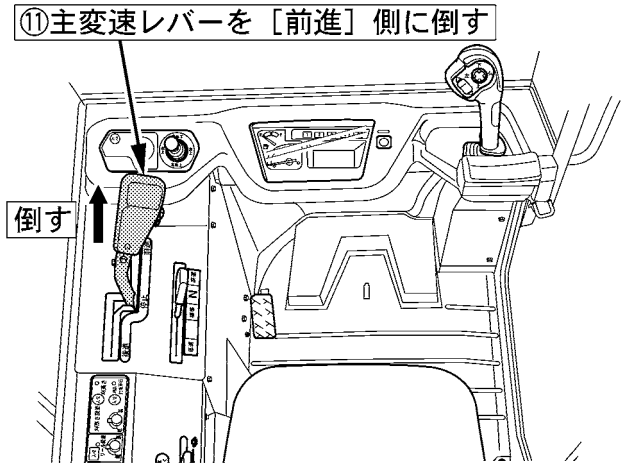



1ASADAGAP012J

**補　足**

＊ 刈高さの合わせかたについては，この取説の 21 ページを参照してください。

＊ 刈取部が地面が接地している状態で，脱こく・刈取クラッチレバーが **［脱こく又は，刈取］** 位置のとき，主変速レバーを **［後進］** 位置にすると刈取部が自動的に上昇します。**（バックリフト機能）**




1ASADAJAP008G

5. 刈取作業を少し行なったあと，選別状態やこぎ残しの有無を確認し，異常があれば各部の調節（別冊本機編参照）を行なってください。
6. 刈取作業が終わると，脱こく・刈取クラッチレバーを **【脱こく】** 位置にし，脱こくが終わりこく粒が全てグレンタンク又はリフトアップタンク内に入ったことを確認して，脱こく・刈取クラッチレバーを **【切】** 位置にします。

# 収穫作業のしかた（RC ヘッダ装着時）

## ■ほ場の旋回のしかた

### ◆ 旋回のしかた

1. 刈終わると前進しながら刈取部を上げます。

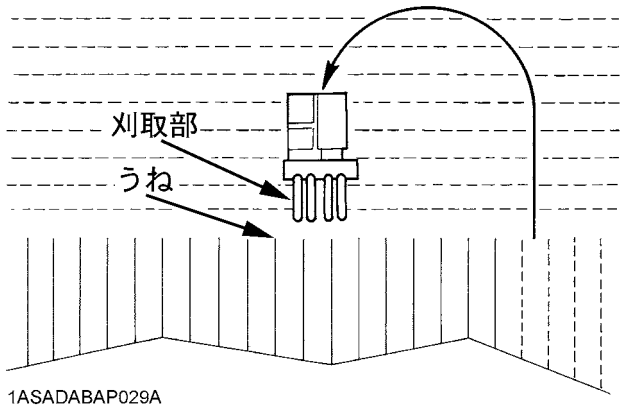
**重　要**

＊ エンジン回転数は，下げないでください。**選別が悪くなったり詰まりの原因**になります。

2. コンバインの速度を落とし，条合わせを行なってから，次行程のうねを刈始めます。このとき，刈取・フィーダ部の高さを，ゲージ輪上下スイッチで調整してください。

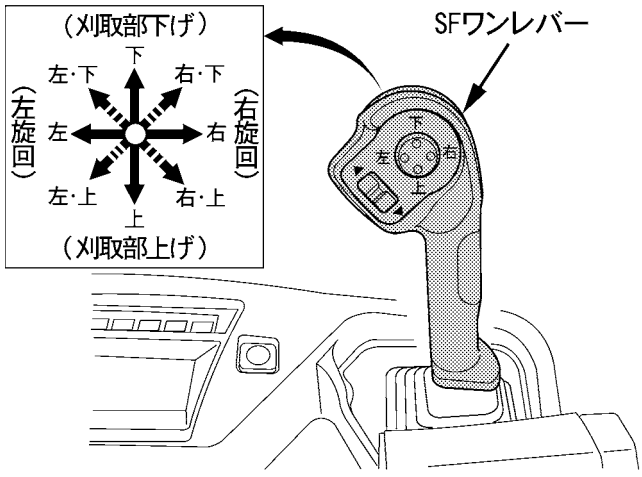
**補　足**

＊ 次行程のうねを刈取るときは，大きく旋回してください。小さく旋回するとほ場が荒れ，荒れたところから刈始めると刈高さや条合わせがやりづらくなります。




1ASADABAP029A

＊ 刈終わる前に刈取部を上げると刈残しが発生します。
＊ エンジンの回転低下が大きいときは，旋回操作の前に減速してください。
＊ SF ワンレバーを斜め方向に操作すると，機体が旋回と同時に刈取部が上下します。




1ASADABAP006E

## ■こく粒の排出のしかた

[CL 仕様]

**危　険**

**＊ リフト作業は周囲をじゅぶん確認して，運転席において一人作業で行なうこと。**
**＊ こく粒排出時，機械の位置合せを行なう場合タンクを下げた位置で行なうこと。**
**● もしタンクを上げた位置で機械を移動すると車速 0.3m/s 以上になると警告音が鳴りさらに車速 0.5m/s 以上になるとエンジンが停止します。**
**＊ 平坦な場所でリフト作業を行なうこと。**
**● 機体傾斜角が 3 度以上になると警告音が鳴りリフトも上昇しません。**

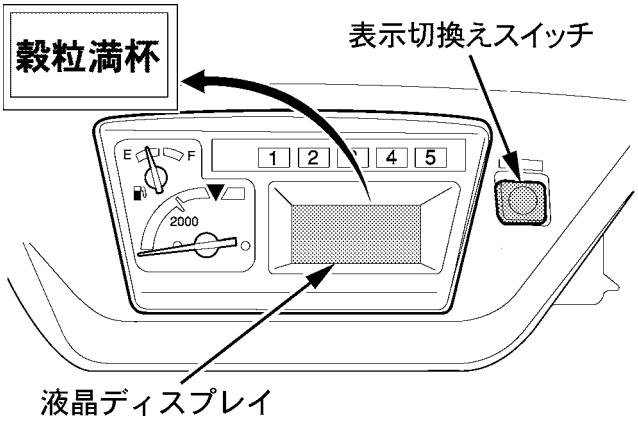
**警　告**

**＊ 傾斜地で作業すると転倒するおそれがあるので，平地に駐車してリフト作業すること。**
**＊ リフト作業を行なうときはモンローを使用しないこと。**
**＊ 落下するおそれがあるので，リフト下部に進入するときは落下防止ロックをすること。**
**＊ 作業中は，タンク周囲に近づかないこと。**
**＊ タンク下に入らないこと。**

**注　意**

**＊ 排出作業を行なうときは，コンバインの走行を必ず停止してください。転倒するおそれがあります。**

1. グレンタンクが満杯になると，エアロナビの液晶ディスプレイが**［穀粒満杯］**と表示すると同時にブザーが鳴ります。



1ASADABAP030A

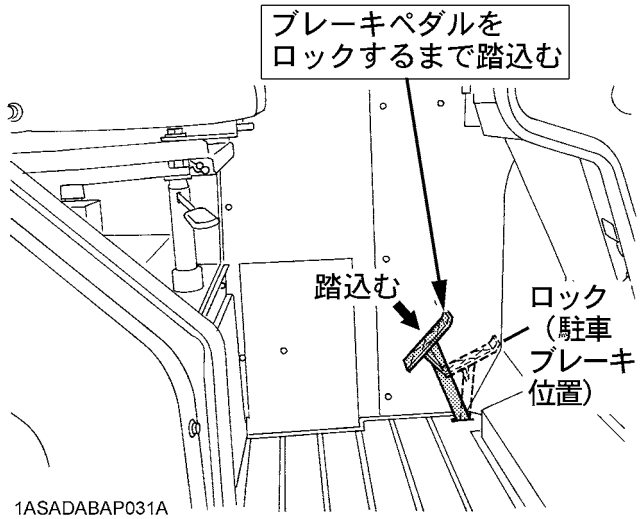
**重　要**

＊ ブザーが鳴ったあとも刈取作業を行なうと，こく粒があふれたり，１番バケットコンベア内が詰まったりして，故障の原因となります。

**補　足**

＊ 表示切換えスイッチを押すと，ブザーは停止します。

2. ブレーキペダルをロックするまでいっぱい踏込み駐車ブレーキを掛けます。

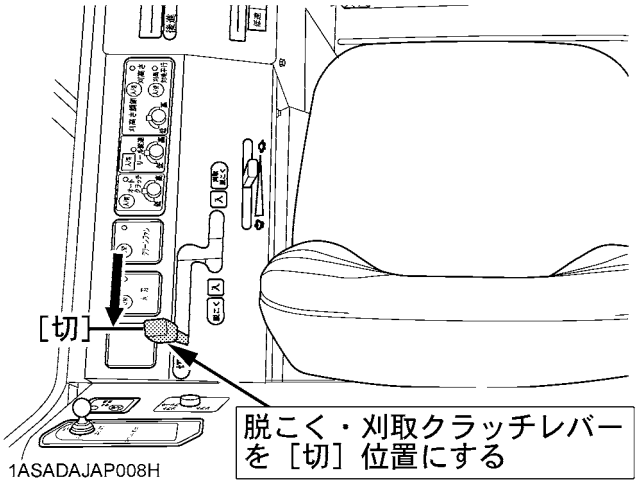


1ASADABAP031A

**補　足**

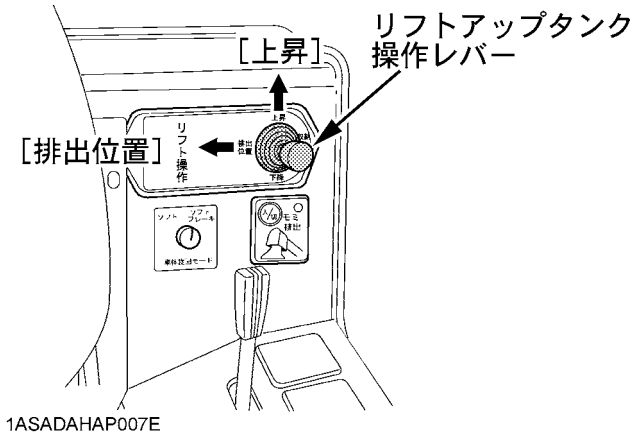
＊ 駐車ブレーキペダルを踏むと主変速レバーが**［停止］**位置に戻ります。また，ブレーキペダルが**［ロック］**位置の場合は，主変速レバーは動きません。

3. 刈取作業をいったん中止し，30 ～ 60 秒待ったあと，脱こく・刈取クラッチレバーを**［切］**位置にして，所定の排出位置に移動します。

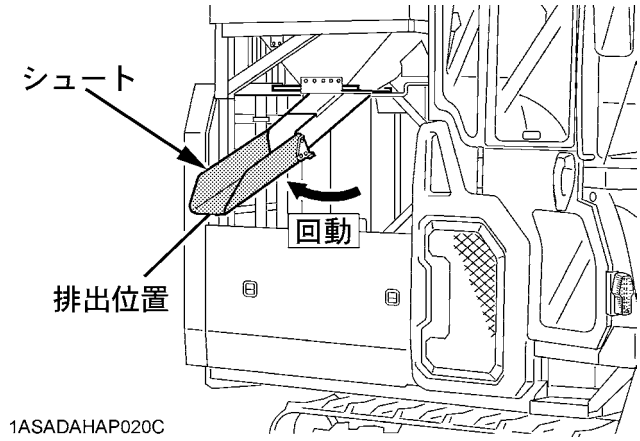


1ASADAJAP008H

4. 駐車ブレーキを解除した後，こく粒排出位置まで移動します。そのあと，ブレーキペダルをロックするまでいっぱい踏込み駐車ブレーキを掛けます。
5. リフトアップタンク操作レバーを**［上昇］**側に操作してリフトアップタンクを上げたあと，操作レバーを**［排出位置］**に操作すると，こく粒排出用のシュートが排出位置に回動します。



1ASADAHAP007E

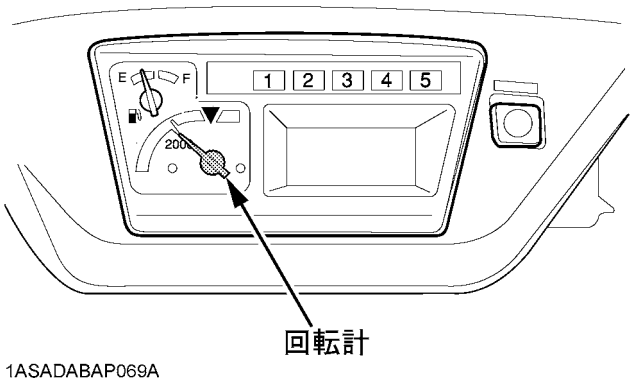


1ASADAHAP020C

**補　足**

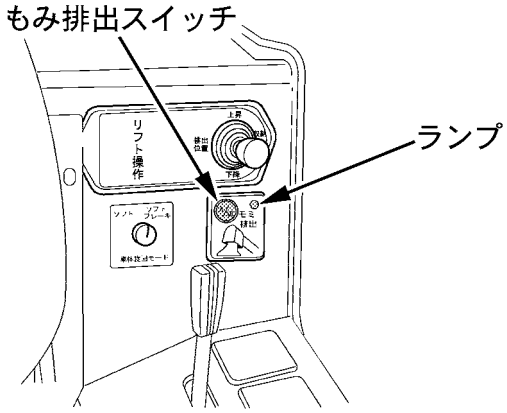
＊ 機体が動いていると，リフトアップタンク操作レバーを操作しても，リフトアップタンクは上昇しません。
＊ リフトアップタンクの上昇量が約1m以下のときは，リフトアップタンク操作レバーを**【排出位置】**に操作しても，シュートは回動しません。また，このときピッピッと警告音が鳴り，**【タンクを上げる】**と表示しますので リフトアップタンクを1m以上上昇してからシュートを排出状態にしてください。
＊ 機体が３度以上傾いた状態でリフトアップ操作レバーを**【上昇】**側に操作すると，ピッピッピッと警告音が鳴り，液晶ディスプレイに**【機体を水平に】**と表示しますので，自動車体水平制御装置の傾斜角水平スイッチの**【▀】**スイッチを押して機体を水平状態にしてからレバーを操作してください。
＊ リフトアップタンクはエンジンが停止していると上昇又は，下降しません。
＊ シュートは，エンジンが**【停止】**中でも，メインスイッチのキーが**【入】**位置で回動します。
＊ シュートが回動中にメインスイッチのキーを**【切】**位置にすると回動が停止し，その後メインスイッチのキーを**【入】**位置に入れても，シュートはその位置の状態です。

6. エンジン回転数を **1600 ～ 2000 rpm** に合わせます。

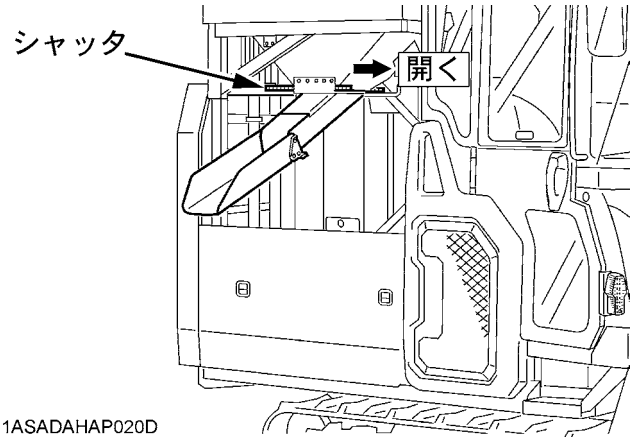


1ASADABAP069A

7. もみ排出スイッチを押すとランプが点滅し（スイッチ**【入】**），シャッタが開きこく粒が排出されます。



1ASADAHAP007F



1ASADAHAP020D

**補　足**

＊ シュートが収納状態でもみ排出スイッチを押すとピッピッと警告音が鳴り，液晶ディスプレイに**【吐出口を開ける】**と表示しますので排出シュートを**【排出位置】**にしてください。
＊ タンクが上昇位置（排出中など）で走行すると車速が0.3m/sでピッピッピッと警告音が鳴り，0.5m/s になるとエンジンが自動停止します。
＊ タンクが上昇位置（排出中など）で機体が３度傾くと，ピッピッピッと警告音が鳴り，それ以上傾いてくると警告音が短かく継続して鳴ります。また，このとき液晶ディスプレイに**【機体を水平に】**と表示しますので，自動車体水平制御装置の傾斜角調節スイッチの**[⬒]**スイッチを押して機体を水平状態にしてください。そのあとに機体の傾きの微調整が必要なときは，水平操作レバーで調整を行なってください。
＊ シャッタはエンジン停止中でもメインスイッチのキーが**【入】**位置で回動します。
＊ シャッタが開いているときに，メインスイッチのキーを**【切】**位置にするとその状態で停止し，その後メインスイッチのキーを**【入】**位置にするとシャッタは閉じます。

8. 排出が終わると，リフトアップタンク操作レバーを**【収納】**側に操作します。（シャッタが閉じて，シュートが収納位置に戻ります。）そのあと，**【下降】**側に操作してリフトアップタンクを最下降位置にします。

**補　足**

＊ 排出シャッタが開いている状態やシュートが排出状態のとき，操作レバーを**【下降】**側に操作するとピッピッと警告音が鳴り，液晶ディスプレイに**【吐出口を閉じる】**と表示しますので，シュートを収納状態にしてください。

**重　要**

＊ シュートが破損したときは，必ず交換してください。
＊ シュートには，絶対物を吊るさないでください。

**補　足**

＊ こく粒を排出すると，液晶表示の**【穀粒満杯】**表示は消えます。

9. 駐車ブレーキを解除したあと作業を始めてください。

**[CL 仕様]**

## ■作業に合わせた各部の調節・調整のしかた

**警　告**

**＊ 作業中の調整以外は，エンジンを必ず止めて，メインスイッチのキーを抜いてから，調節・調整を行なってください。**
**＊ 衣服などが回転部に巻込まれ危険ですので，取外した回転部のカバー類は必ず取付けてください。**

**注　意**

**＊ 水平で平坦な場所で行なってください。**
**＊ コンバインを停止するときは，排かんくずの上に止めないでください。マフラ排気口に排かんくずが触れると，火災のおそれがあります。**

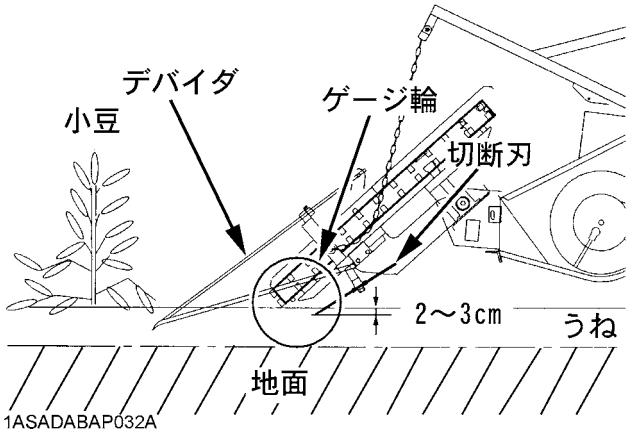
# 収穫作業のしかた（RC ヘッダ装着時）

### ◆ 刈高さ

作物の種類や状態（倒伏や着莢位置）に合わせて刈高さを調整してください。また，刈高さの調整と同時にデバイダの高さも確認してください。

### ● 小豆の刈高さ

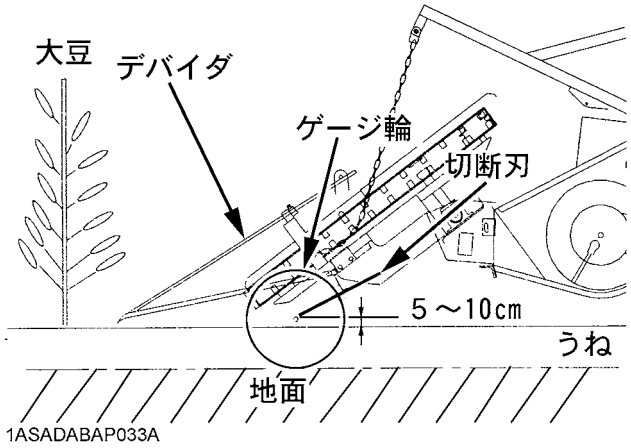
倒伏が小さいときは，切断刃を**うね上面から下側（土の中）２～３ ㎝の位置**にして刈取ってください。



1ASADABAP032A

### ● 大豆の刈高さ

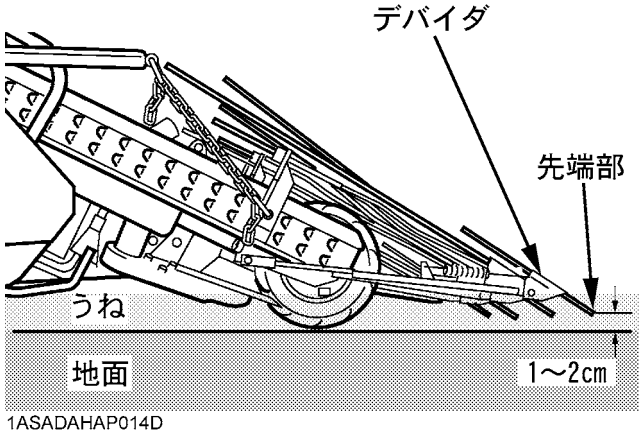
切断刃を**うね上面から上側（地上）５～ 10㎝ の位置**にして，刈取ってください。



1ASADABAP033A

### ◆ デバイダ

作物の状態（倒伏，着莢位置，長さ）やうねの高さに合わせてデバイダの長さを調整してください。通常のデバイダの高さは，デバイダ先端部で地面（うね間）から１～２ ㎝ の高さにしてください。

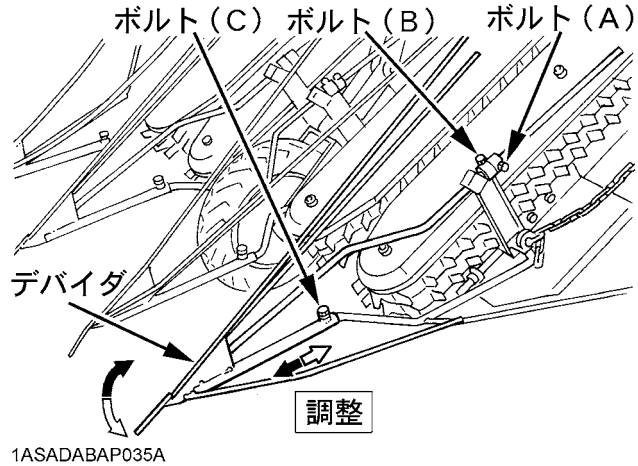


1ASADAHAP014D

### ● 調整

作物の立っている（倒伏していない）状態では調整は必要ありません。また，作物の長さが 50㎝ 以上の場合はデバイダを前方に引出して高くしてください。倒伏した作物は状態に合わせてデバイダを前後に調整して高さ調整を行なってください。

1. ボルト（A）・(B）をゆるめます。そのあと，ボルト（C）をゆるめます。
2. デバイダを前後に調整して高さ調整を行ないます。



1ASADABAP035A

3. ボルト（C）を締付けます。そのあと，ボルト（A）・(B）を締付けます。

**補　足**

＊ 全てのデバイダを同じ高さに調整してください。

## 各部のオープン（開閉）と脱着のしかた

**警　告**

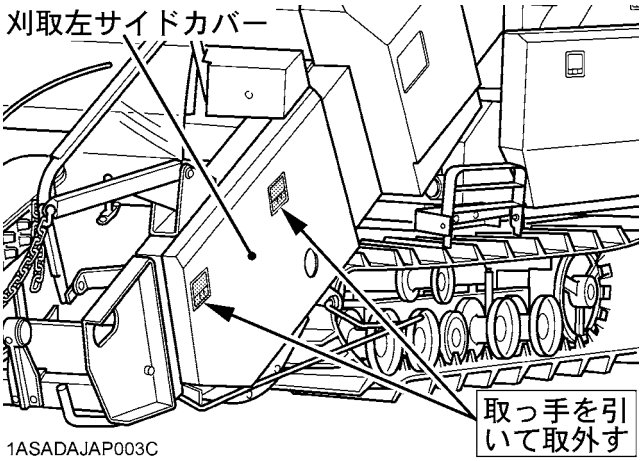
- **＊ 平坦で安全な場所で，機械の移動や各部を動かすとき以外は，エンジンを必ず止めて，メインスイッチのキーを抜いてから行なってください。**
- **＊ 取外したカバー類は，必ず取付けてください。**
- **＊ 傾斜地では開閉や脱着を行なわないでください。**

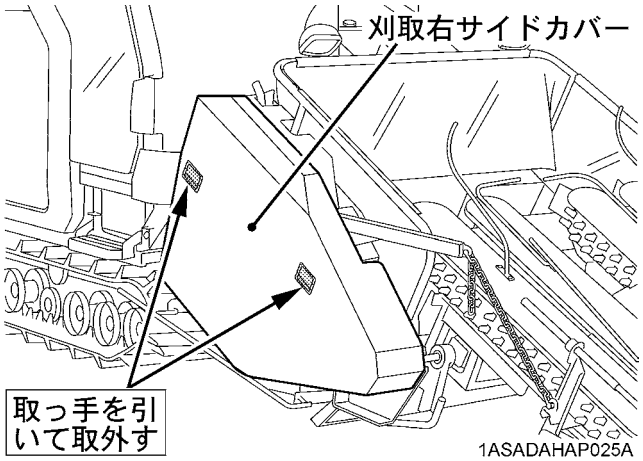
### ■刈取左，右サイドカバーの脱着

刈取部を地面に接地させて行なってください。

**◆ 取外しかた**

1. 刈取部を地面に接地させたあと，エンジンを停止します。
2. カバーの取っ手を引いて取外します。



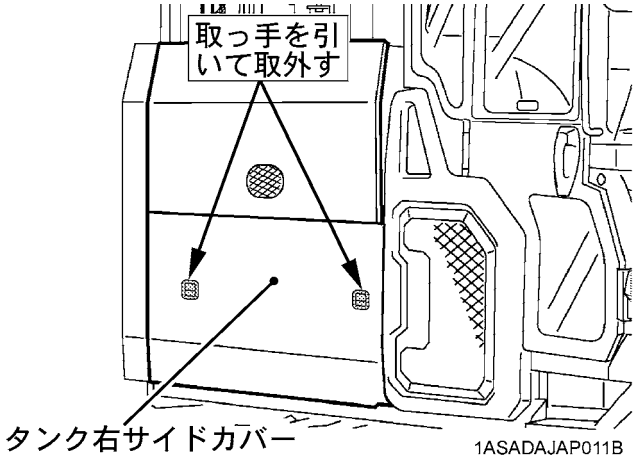

**◆ 取付けかた**

取外しの逆の手順で取付けます。

### ■タンク右サイドカバーの脱着

**◆ 取外しかた**

取っ手を引いて取外してください。




**◆ 取付けかた**

逆の手順で取付けてください。

## 各部の掃除と注油のしかた

機械の故障などトラブルが発生しないように，各部の手入れをじゅうぶん行なってください。

**警　告**

**＊ エンジンを必ず止めて，メインスイッチのキーを抜いてください。**
**＊ 取外したり，オープンした回転部のカバー類は衣服などが巻込み危険ですので必ず取付けてください。**
**＊ 各搬送チェーンや刃部には注意してください。ケガをするおそれがあります。**
**＊ 刈刃（円板カッタ）には注意してください。ケガをするおそれがあります。**

**注　意**

**＊ 刈取部やリフトアップタンクを上げた状態で作業するときは，刈取・リフトアップタンク下降ロックスイッチを［ロック］位置にして刈取部及びリフトアップタンクの落下防止を行なってください。**
**＊ 空運転するときには必ず各カバーを閉じてください。**
**＊ フィーダやこぎ胴上部に上がって作業を行なうときは，転倒・転落のおそれがありますので，足元がすべらないように足場をじゅうぶん確保し，安定した作業姿勢で行なってください。**
**＊ オイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。（クローラなどのゴム製品が劣化します。）**
**＊ バッテリ，マフラやエンジン・燃料タンク周辺部にごみや燃料の付着，泥の堆積などがあると火災の原因になることがありますので，取除いてください。**
**＊ 刈刃の掃除・注油時は，手袋を着用し刃部に注意しながら行なってください。**

**重　要**

＊ 水洗いするときは，電装品に水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
＊ 掃除口を閉じるときは，掃除口にこく粒の付着がないことを確めてから閉じてください。また，掃除の後，ふたを忘れるとこく粒が飛散します。
＊ 機内はよく乾燥させてから掃除してください。濡れているとこく粒が機内に付着して残留こく粒が多くなります。
＊ 取外したボルト・ナットは，必ず締付けてください。

### ■各部の掃除

品種の混合を避けたいときや収穫シーズンが終わったときには，機内の残留こく粒をきれいに取除いておきましょう。

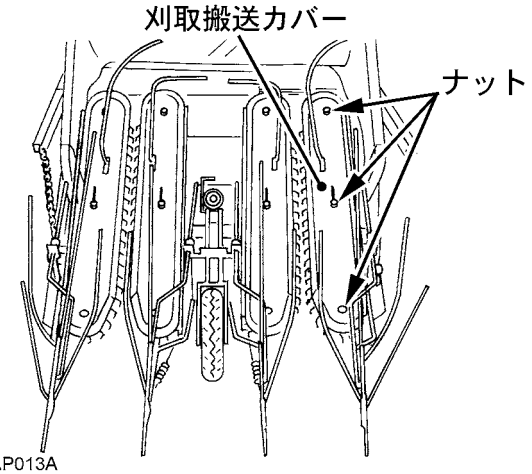
#### ◆ 掃除のしかた

刈取作業が終わり，こく粒の排出がすべて終わったあと脱こく部を約３分間空運転します。そのあと，脱こく・刈取クラッチレバーを［**切**］位置にしてエンジンを止めます。
掃除をするときには，各部の開閉部を開き，掃除口を開いてください。

#### ◆ 掃除箇所

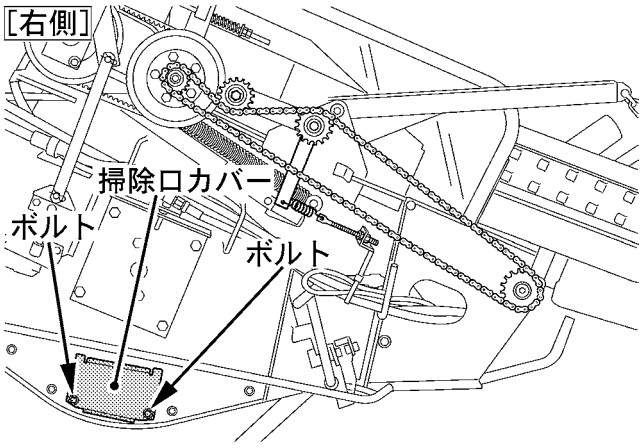
**● 刈取搬送部（RC ヘッダ装着時）**

ナットを外し，各刈取搬送カバーを取外して掃除してください。掃除後は，各刈取搬送カバーを取付けてください。

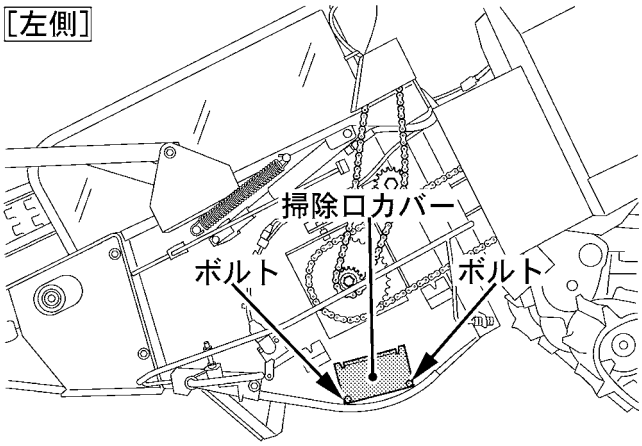


1ASADAFAP013A

**● 刈取左，右サイドカバー内（RC ヘッダ装着時）**
刈取左及び，右サイドカバーを取外したあと，ボルトを外し，掃除口カバーを取外して掃除してください。掃除後は，掃除口カバーを取付けたあと，刈取左及び，右サイドカバーを取付けてください。

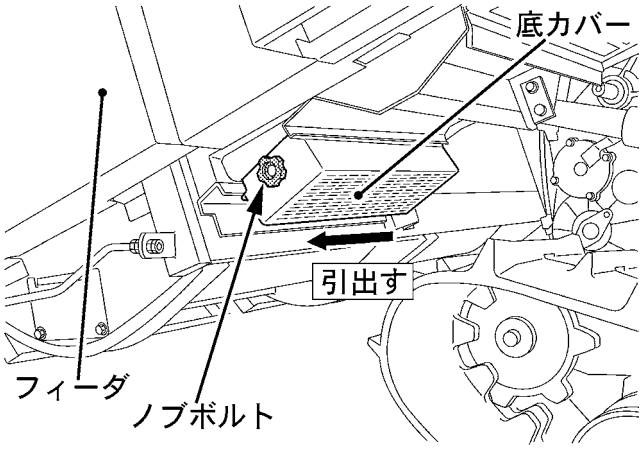



1ASADAHAP026A



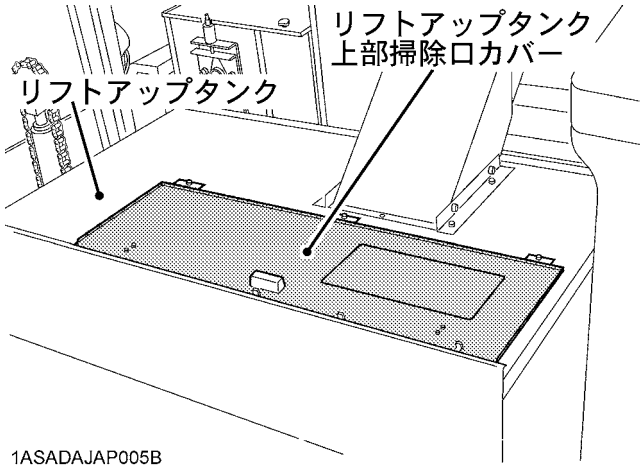

1ASADAHAP027A

**● フィーダ下部**
ノブボルトを取外し，底カバーを引出して掃除してください。掃除後は，底カバーを取付けてください。




1ASADAHAP022A

**● リフトアップタンク内**
リフトアップタンク上部の掃除口の開閉カバーを開いて掃除してください。掃除後は，開閉カバーを閉じてください。




1ASADAJAP005B

**◆ 掃除後の処置と確認**
掃除終了後は，取外したり，オープンした掃除口カバーや安全カバーは必ず取付けてください。

## ■各部の注油

**注 意**

**＊ 転倒・転落のおそれがありますので，作業を行なうときは足元がすべらないように足場をじゅうぶん確保し，安定した作業姿勢で行なってください。**

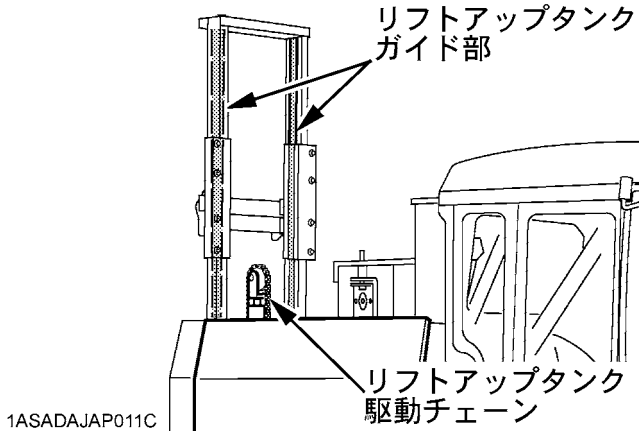
機体各部の掃除が終わったあと又は，刈取作業を始める前には各部の注油やグリースの塗布を行なってください。

### ◆ 注油のしかた

平坦な場所に刈取部を接地させたあと，駐車ブレーキを掛けます。

### ◆ 注油箇所

- **リフトアップ駆動チェーン**
- **リフトアップタンクガイド部**

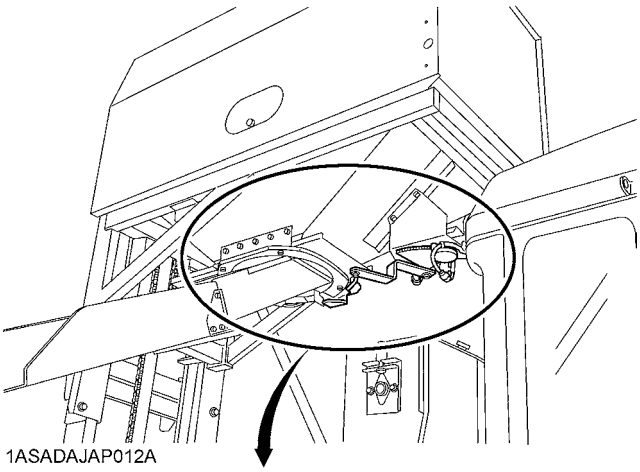


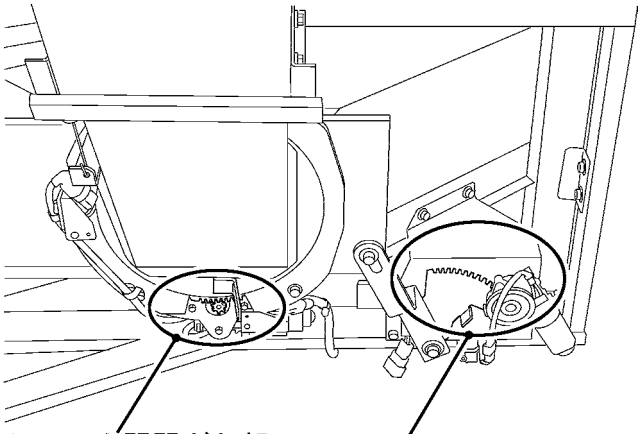
1ASADAJAP011C

### ◆ グリース塗布箇所

- **シャッタ開閉ギヤ部**
- **シュート開閉ギヤ部**

リフトアップタンクをこく粒排出状態にしたあと，刈取・リフトアップタンク下降ロックスイッチでリフトアップタンクの下降防止を行ない，エンジンを停止してグリースを塗布してください。


1ASADAJAP012A



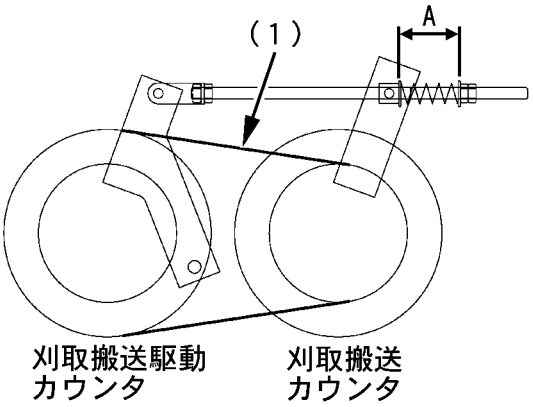
1ASADAHAP024A

## 定期点検

### ■各部ベルトの点検･調整

下表を参照して，各ベルトの調整を行なってください。

| 点検箇所 | 図番 | 名称 | サイズ | 本数（本／台） | 張り調整 ※テンションスプリング取付け長さ（mm） | | たわみ量（mm） | 適応仕様 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 刈取部 | （1） | 刈取搬送変速ベルト | RPF16.7-711-877 | 1 | A | 63 ～ 67 | － | RC 仕様 |

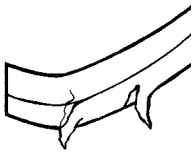
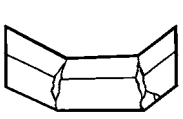



1ASADAHAP028A

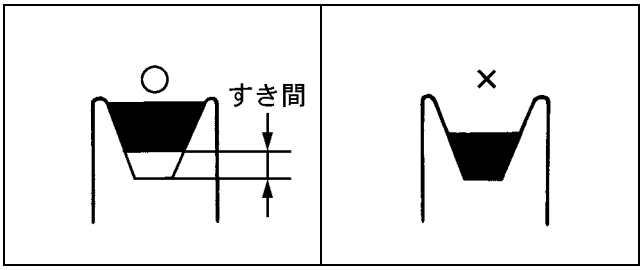
**◆ 点検**

各部のベルトを点検するときは，下記の事項をよく確認してください。

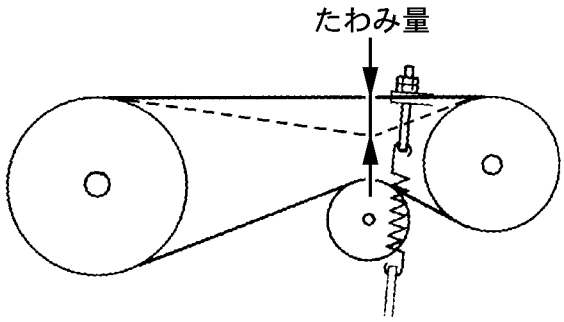
1．ベルトの焼付きや摩耗，被覆のはがれ，き裂やひび割れ

| 焼付きや摩耗 | 被覆のはがれ | き裂やひび割れ |
|---|---|---|
| × | × | × |
| |  |  |

2．ベルトの底部とプーリ溝部のすき間




3．ベルトの伸び（たわみ量）




1ARADBEAP479A

上記の事項を確認したとき，異常があればベルト交換又は，ベルトの張り調整を行なってください。ベルトの交換は購入先へ連絡して修理を依頼してください。

**重　要**

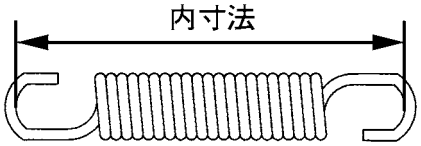
＊ ベルトは必ずクボタ純正品を使用してください。

### ◆ 調整

ベルトが伸びているとき（スリップが発生しやすい）は，張り調整を行なってください。

**補　足**

＊ スプリングの取付け長さは，フックの内寸法を測定してください。

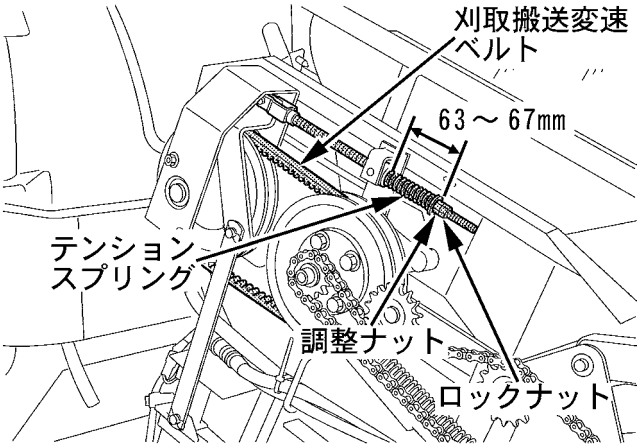



1ASADAFAP021A

### ■刈取搬送変速ベルト

テンションスプリングの長さを63～67㎜に調整します。

1. 刈取右サイドカバーを取外します。
2. ロックナットと調整ナットをゆるめて調整を行ないます。
3. 変速プーリを３回転以上回したあと，再度テンションスプリングの長さを測定し，範囲から外れているときは再調整を行ないます。
4. ロックナットと調整ナットを締付けたあと，刈取右サイドカバーを取付けます。




1ASADAHAP029A

## ■各部チェーンの点検･調整

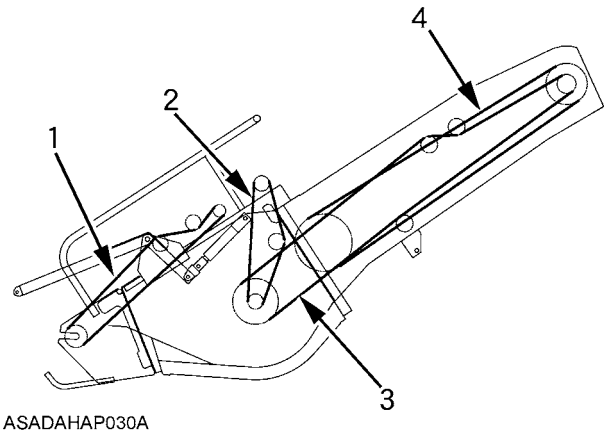
### ◆ 点検

各部のチェーンを点検して，異常があればチェーンの交換又は，張り調整を行なってください。チェーンの購入は購入先へ連絡して修理を依頼してください。

**重　要**

＊ チェーンは必ずクボタ純正のものを使用してください。

| 点検箇所 | 図番 | 名称 | 張り調整 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ※テンションスプリング取付け長さ（mm） | たわみ量（mm） | すき間（mm） |
| 刈取部 | 1 | 刈取搬送駆動チェーン | 98 ～ 102 | － | － |
| | 2 | 刈取搬送カウンタチェーン | － | 15 ～ 20 | － |
| | 3 | RC オーガ駆動チェーン | 131 ～ 135 | － | － |
| | 4 | フィーダ搬送チェーン | － | 6 ～ 10 | － |



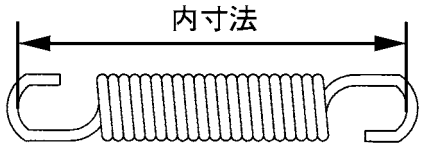

1ASADAHAP030A

### ◆ 調整

チェーンが伸びているときは，張り調整を行なってください。

**補　足**

＊ スプリングの取付け長さは，フックの内寸法を測定してください。

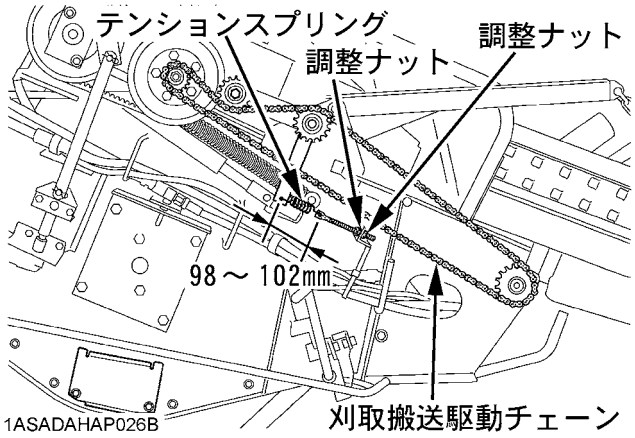



1ASADAFAP021A

### ■刈取搬送駆動チェーン

テンションスプリングの長さを 98 ～ 102mm に調整します。

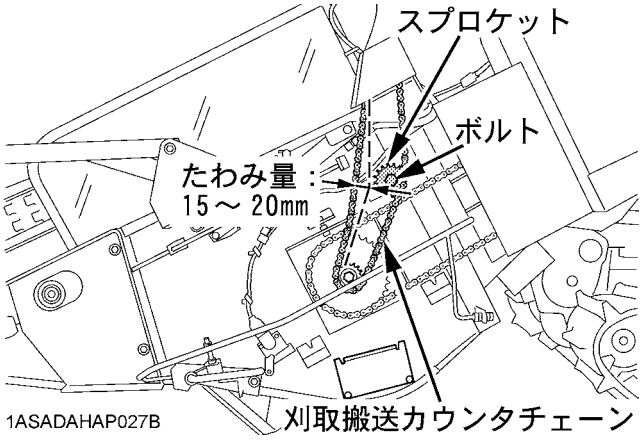
1. 刈取右サイドカバーを取外します。
2. 調整ナット 2 個をゆるめて調整を行ないます。
3. 調整ナットを締付けたあと，刈取右サイドカバーを取付けます。




### ■刈取搬送カウンタチェーン

チェーンを軽く指で押したときのたわみ量を 15 ～ 20mm に調整します。

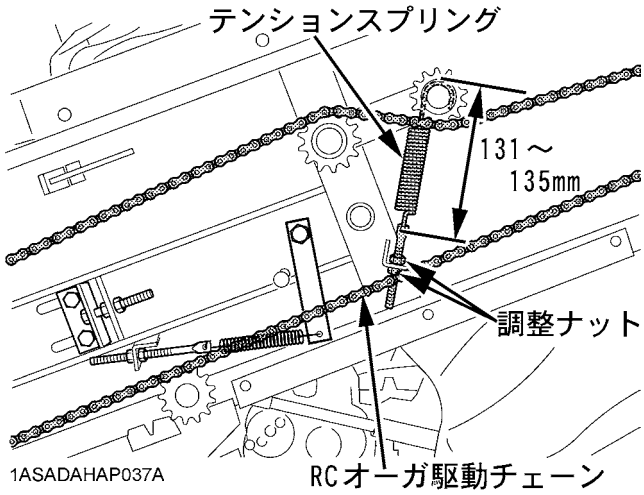
1. 刈取左サイドカバーを取外します。
2. スプロケットのボルトを軽くゆるめます。
3. 樹脂ハンマなどでボルトの頭をたたいてチェーンのたわみ量の調整を行ないます。
4. ボルトを締付け，スプロケットを締付けたあと，刈取左サイドカバーを取付けます。




### ■ RC オーガ駆動チェーン

テンションスプリングの長さを 131 ～ 135mm に調整します。

1. フィーダサイドカバー，刈取左サイドカバーを取外します。
2. 調整ナット 2 個をゆるめて調整を行ないます。
3. 調整ナットを締付けたあと，フィーダサイドカバー，刈取左サイドカバーを取付けます。



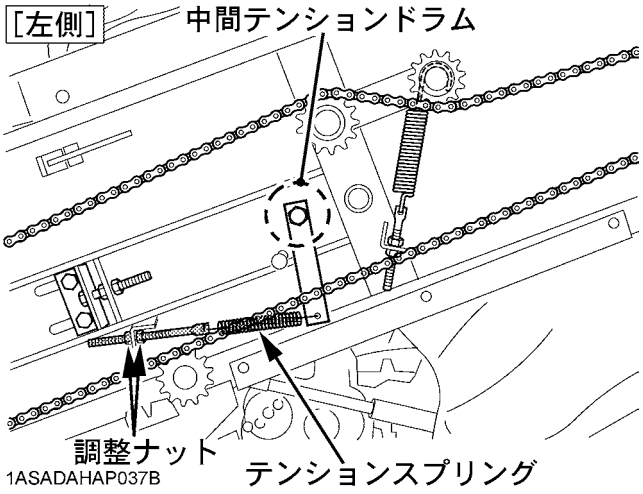
## ■フィーダ搬送チェーン

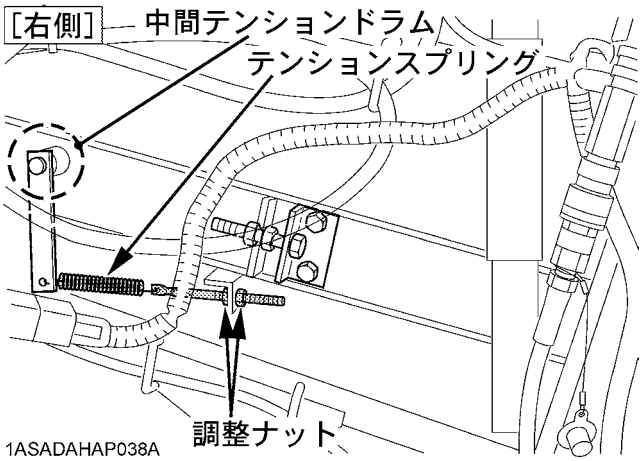
**注 意**

**＊ 転倒・転落のおそれがありますので，作業を行なうときは足元がすべらないように足場をじゅうぶん確保し，安定した作業姿勢で行なってください。**

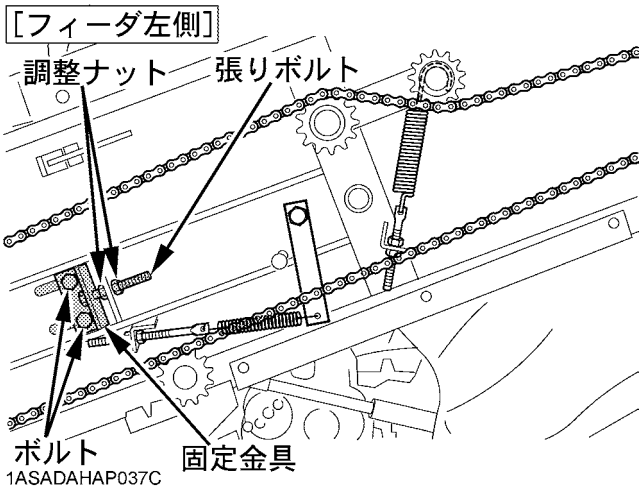
フィーダチェーンに取付けている搬送板とフィーダの底板のすき間を６～ 10㎜ に調整します。

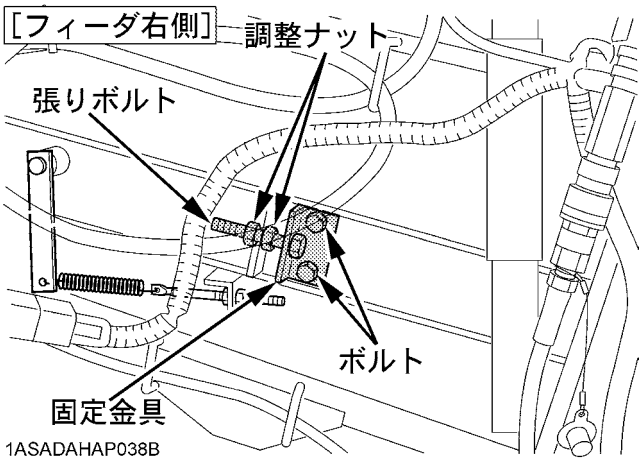
1. こぎ胴サイドカバーをオープンしたあと，フィーダサイドカバーを取外します。
   (別冊本機編**【■フィーダ搬送チェーン】**の項参照)
2. 調整ナット２個をゆるめて，中間テンションドラムのテンションスプリングの張りを左・右共ゆるめます。

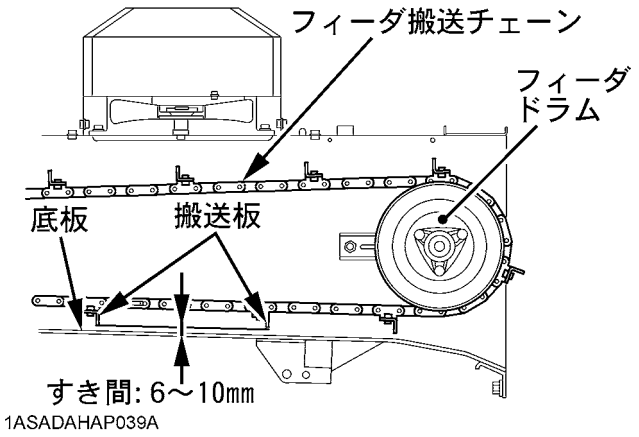


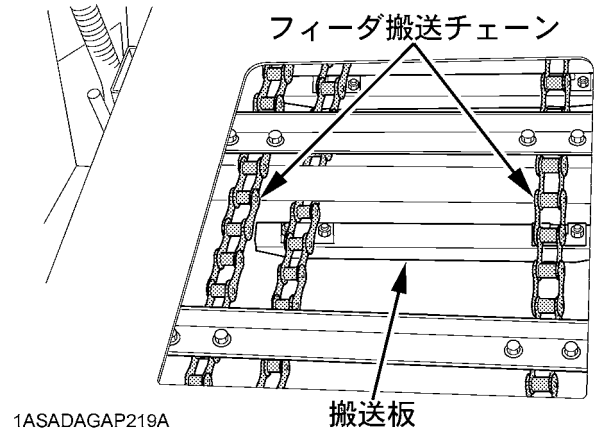

3. ボルトを取外し，フィーダ下部の掃除口カバーを取外します。
   (別冊本機編**【■フィーダ搬送チェーン】**の項参照)
4. フィーダ前部にあるフィーダドラムの前後調整を行ない，フィーダ搬送チェーンの張り調整を行ないます。
   (1) フィーダドラムを固定しているフィーダ前部の左，右にある固定金具のボルトをそれぞれゆるめます。
   (2) 左，右の張りボルトの調整ナット２個をそれぞれゆるめたあと，張りボルトで調整を行ないます。
   (3) 左，右の固定金具のボルトをそれぞれ締付けたあと，左，右の張りボルトの調整ナットをそれぞれ締付けます。





1ASADAHAP039A



1ASADAGAP219A

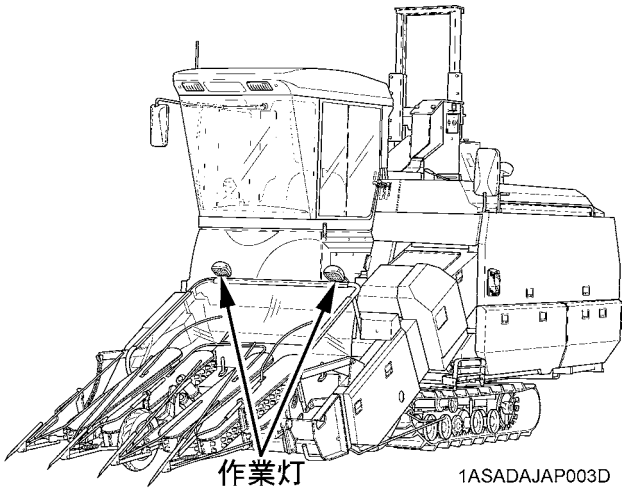
**重　要**

＊ 張りボルトの調整量は同じにしてください。搬送板が左・右方向に傾くと故障の原因となります。

5. 中間テンションドラムのテンションスプリングの調整ナットを左右それぞれ締付けます。
6. フィーダ上部の掃除口カバー，フィーダサイドカバーを取付けたあと，こぎ胴サイドカバーを閉じます。

### ■ランプ（電球）の点検･交換，ホーンスイッチの点検

ランプ（電球）切れがないか点検し，切れているときは交換してください。また，ホーンスイッチを押して点検し，鳴らないときは，配線やヒューズを確認してください。



1ASADAJAP003D

## 刈取作業後の手入れ

刈取作業が終わったあとは，機械の点検・整備を怠らず翌日又は，翌年の刈取作業に備えてください。

### ■長期格納時

**警　告**

**＊ 刈刃（円板カッタ）の刃先には注意してください。ケガをするおそれがあります。**

**注　意**

**＊ 機体に本機カバーをかけるときは，エンジン･マフラが冷えてからかけてください。停止直後にカバーをかけると火災のおそれがあります。**

- 刈刃は本機から取外して，汚れを落とし，さびが発生しないように油を塗ってから保管してください。
- 水洗いしたあとよく水分を拭取り，機体を平たんな場所に木の台などをあてがい保管してください。
- 手入れが終わったあとは，機体に本機カバーをかけて，湿気やほこりが少なく風通しのよい場所に保管してください。

**補　足**

＊ 搬送ベルトをゆるめておくと長持ちします。
＊ 破損部品，消耗部品は来シーズンに備えて早めに交換しておいてください。

# コンバインの不調と処置

**警　告**

**＊ 各部の調整・点検・交換を行なうときは，各レバー類を［切］位置にして回転部を止め，エンジンを必ず止めて，メインスイッチのキーを抜いてから作業をしてください。**
**＊ 取外した回転部のカバー類は，衣服などが巻込み危険ですので，点検後は必ず取付けてから作業をしてください。**

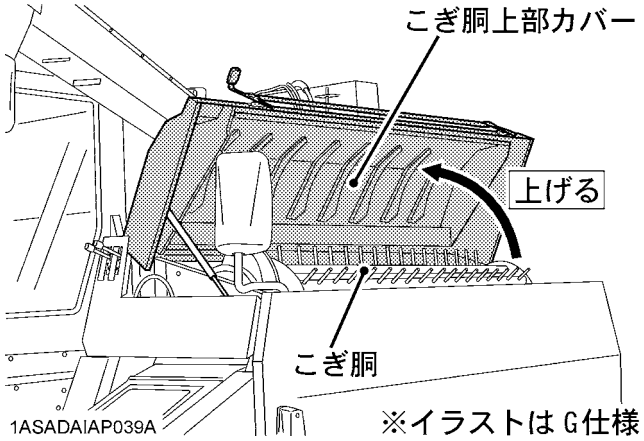
## ■ こぎ胴に作物の巻付きが多く発生する

**注　意**

**＊ エンジン停止直後は，オープンしないでください。惰性でこぎ胴が回転しているおそれがあり，ケガをするおそれがあります。**
**＊ 手や指をはさまれてケガをするおそれがあるので，こぎ胴上部カバーはゆっくりと開閉してください。**
**＊ 転倒・転落のおそれがありますので，作業を行なうときは足元がすべらないように足場をじゅうぶん確保し，安定した作業姿勢で行なってください。**
**＊ 刃部に手を掛けないでください。**
**＊ わら切刃を取付けた状態でこぎ胴に巻付いた作物を取除くときは，作物で刃先が見えないときがあるので刃部にはじゅうぶん注意してください。**
**＊ 危険ですので，手袋をして，脱着作業をしてください。**

作物がこぎ胴にからんで巻付き，液晶ディスプレイに**［こぎ胴］**と表示したとき，こぎ胴に巻付いた作物を取除いて掃除しても，液晶ディスプレイに頻繁に**［こぎ胴］**と表示するときは，付属部品のわら切刃を取付けてください。

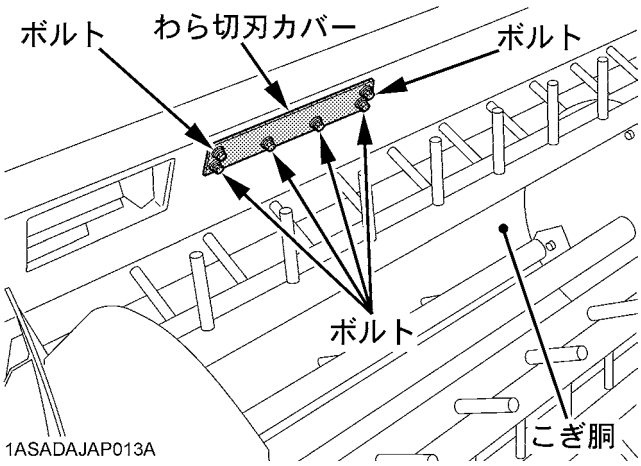
1. 平たんな場所に機体を止めたあと，エンジンを停止します。
2. こぎ胴上部カバーを上げます。



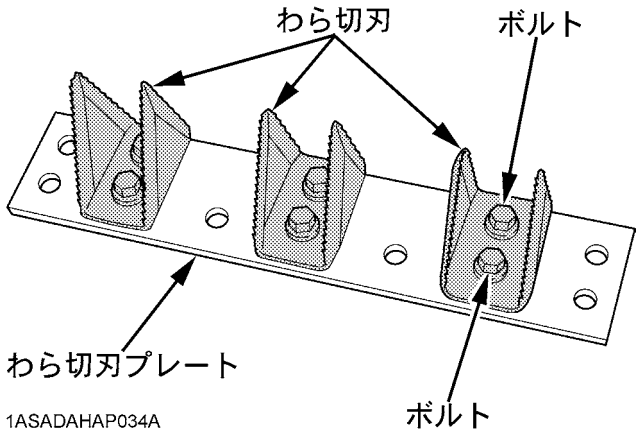

**補　足**

＊ 上部カバーはいっぱいまで上げてください。

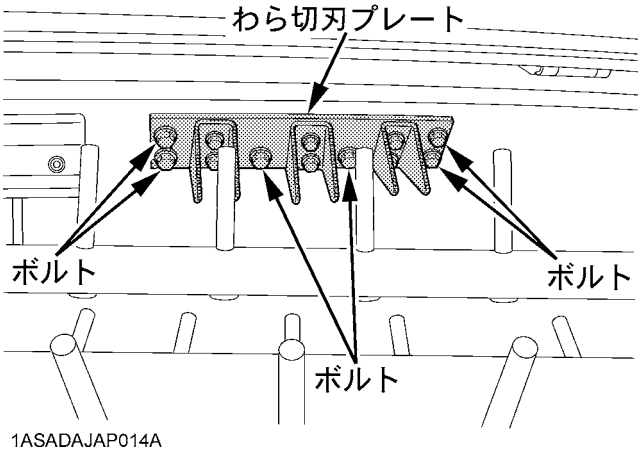
3. ボルトを外してわら切刃カバーを取外します。



4. 付属部品のわら切刃３個をわら切刃プレートにボルトでそれぞれ取付けます。




5. わら切刃カバーを取外したところに，取外したボルトでわら切刃を取付けたわら切刃プレートを取付けます。




**重　要**

＊ わら切刃を取付けて作業を行なうとき，こぎ室内に石など固い異物が入るとわら切刃が破損するおそれがあります。

**補　足**

＊ わら切刃を取付けるときは，傾きの出ないように注意して取付けてください。

# 付表

## 主要諸元

※RCヘッダ装着時

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 農機型式名 | | | | クボタRO801L | クボタRO801G |
| 車輌型式名 | | | | ARH430 | |
| 区分 | | | | CL | CG |
| 機体寸法 | 全長(mm) | | | 5555 | |
| | 全幅(mm) | | | 2080 | |
| | 全高(mm) | | | 3200〔リフト支柱の高さ〕 | 2560 |
| 機体質量(kg) | | | | 2895 | 2870 |
| エンジン | 名称 | | | D1803-T-EDM-ET03 | |
| | 形式 | | | 水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル〔ターボ付き〕 | |
| | 総排気量(L{cc}) | | | 1.826 {1826} | |
| | 出力／回転速度(kW {PS} /rpm) | | | 32.0 {43.5} /2700 | |
| | 使用燃料 | | | ディーゼル軽油 | |
| | タンク容量(L) | | | 55 | |
| | 始動方式 | | | セルモータ | |
| | バッテリ(V･Ah) | | | 12・55〔80D26L-MF〕 | |
| 走行部 | クローラ | 中心距離(mm) | | 980 | |
| | | 幅×接地長(mm) | | 360×1500 | |
| | | 平均接地圧(kPa({kgf/cm²}) | | 26.3{0.268} | 26.1{0.266} |
| | 最低地上高(mm) | | | 165～265 | |
| | 変速方式 | | | 油圧モータ式〔ＨＳＴ〕 | |
| | 変速段数 | | | 前進無段・後進無段〔副変速各３段〕 | |
| | 走行速度(m/s) | | 前進 | 〔副変速〕低速：0～0.85　標準：0～1.38　走行：0～2.40 | |
| | | | 後進 | | |
| | 旋回方式 | | | ブレーキ・ソフトターン，ソフトターン〔スイッチ切換え式〕 | |
| 刈取部 | 刈取条数(条) | | | 大豆・小豆　２条刈 | |
| | 刈幅［デバイダ先端間隔］(mm) | | | 畝幅 600（２尺）又は660（２尺２寸）固定 | |
| | 刈取装置形式 | | | ディスクカッタ | |
| | 刃幅(mm) | | | φ330×２ | |
| | 引起し方式 | | | 突起付きベルト搬送 | |
| | 引起し変速方式 | | | 搬送ベルト変速方式：車速同調式 | |
| | 刈取部上下調節方式 | | | 刈取搬送部上下調節方式：油圧式 | |
| | 刈高さ［昇降］範囲(mm) | | | -30～150（ゲージ輪調節範囲） | |
| 脱こく部 | 脱こく方式 | | | 軸流式〔バータイプ〕 | |
| | こぎ胴 | 径×幅(mm) | | 542×1700 | |
| | | 回転数(rpm) | | 大豆・小豆：316 | |
| | ２番還元方式 | | | スクリュ＋スラットコンベア | |
| | 選別方式 | | | 揺動・風選〔トリプル気流選別〕 | |
| | コンケーブ面積［4枚](m²) | | | 1.17 | |

＊この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

※RCヘッダ装着時

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 農機型式名 | | | クボタR0801L | クボタR0801G |
| 車輌型式名 | | | ARH430 | |
| 区分 | | | CL | CG |
| こく粒処理部 | タンク容量(L) | | 600〔リフトアップタンク〕 | 950〔グレンタンク〕 |
| | 排出方式 | | バケット＋リフトアップ排出方式 | バケット＋ベルトコンベア排出方式 |
| | 口数 | | 1口 | — |
| | 排出時間 | | 約1分 | 約2分30秒〔エンジン回転2700rpm時〕 |
| | 昇降範囲（度）・昇降方式 | | シュート旋回・シャッタ開閉電動モータ式 | 206・油圧式 |
| | 旋回範囲（度）・旋回方式 | | タンク上下・油圧式 | 6～25・油圧式 |
| | 排出高さ〔作業時〕(mm) | | 1000～2200 | 1510～3145 |
| | 排出長さ〔作業時〕(mm) | | 630（タンク側から） | 3150 |
| わら処理部 | 工場出荷仕様 | | 排じんカバー | |
| 諸装置 | 自動化装置 | 自動刈高さ制御 | ○ | ○ |
| | | 刈取対地平行自動刈高さ制御 | ○ | ○ |
| | | 刈取オートクラッチ | ○ | ○ |
| | | 自動車体水平制御 | ○ | ○ |
| | | アンローダ自動旋回制御 | — | ○ |
| | | エンジン正逆流ファン | ○ | ○ |
| | クリーンファン | | ○ | ○ |
| | 刈取バックアップリフト〔後進時刈取部上昇機能〕 | | ○ | ○ |
| | ポジピタ〔刈取部ワンタッチ昇降機能〕 | | ○ | ○ |
| | 方向微調整スイッチ | | ○ | ○ |
| | ホイスト上下・ゲージ輪上下スイッチ | | ○ | ○ |
| | パワークラッチ〔刈取〕 | | ○ | — |
| | パワークラッチ〔刈取・こく粒排出〕 | | — | ○ |
| | バイブロシャッタ | | — | ○ |
| | ラジオ付きCDプレーヤ | | ○ | ○ |
| | 無線アンローダリモコン | | — | ○ |
| | キャビン | | ○ | ○ |
| | 警報装置 | | 燃料･充電・油圧・水温（オーバーヒート）・負荷・こぎ胴・こく粒満杯・1番詰まり **[CG仕様]** ・2番詰まり・オーガ詰まり・車速オーバ警報 **[CL仕様]** ・傾斜警報 **[CL仕様]** ・転倒予防警報 | |
| 作業能率(a/hr{分/10a}) | | | 40～30｛15～20｝〔大豆〕 | |
| 適応作物 | | | 大豆・小豆 | |

＊この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。
※諸装置について　○：標準装備　—：非装備（後付け不可）

# 付表

## 付属部品

次の部品が付属していますのでお調べください。

| | |
|---|---|
| ＊取扱説明書（RC） | 1 |
| ＊わら切刃取付けプレート（35 ページ参照） | 1 |
| ＊わら切刃・ボルト（35 ページ参照） | 3 |
| ＊わら切刃取付け用ボルト（35 ページ参照） | 6 |

## オプション（別売品）（純正品を使いましょう）

### ■金時豆キット

金時豆の刈取作業に使用します。

| 品　番 | 品　名 |
|---|---|
| 5T040-86040 | キット（金時） |

### ■大豆キット

大豆の刈取作業に使用します。

| 品　番 | 品　名 |
|---|---|
| 5T040-86050 | キット（大豆） |

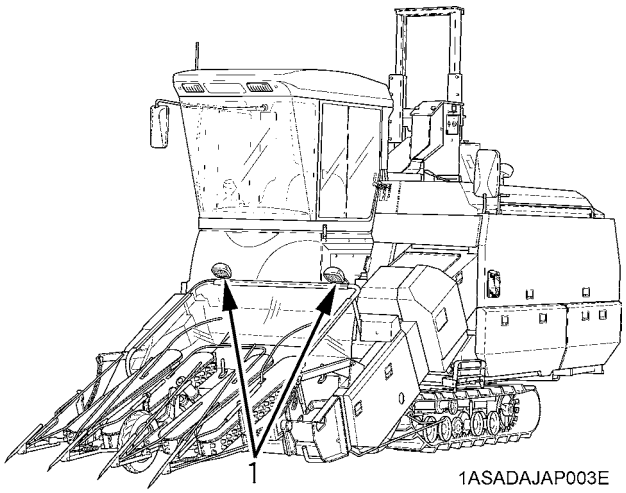
### ■格子受網２枚キット

小豆・金時豆の刈取作業で受あみが目詰まりを起こしやすいときに使用します。

| 品　番 | 品　名 |
|---|---|
| 5T040-86090 | コウシウケアミ２マイキット |

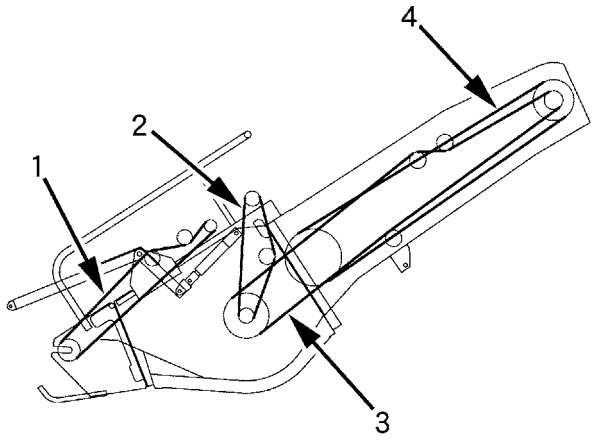
## 消耗部品（純正品を使いましょう）

### ◆ ランプ（電球）



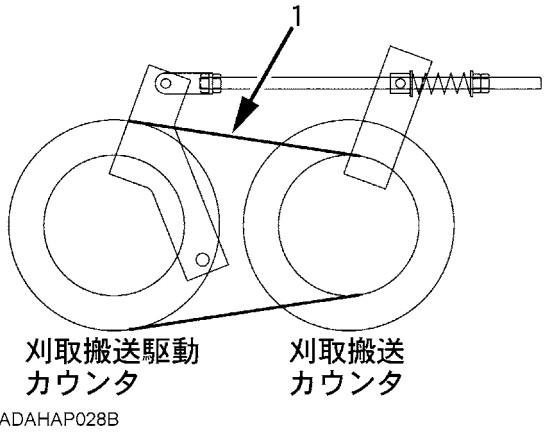

| 図番 | 品　名 | 品　番 | 対象型式 |
|---|---|---|---|
| 1 | バルブ（12V55W） | 3G710-7590-0 | 全型式 |

### ◆ チェーン関係



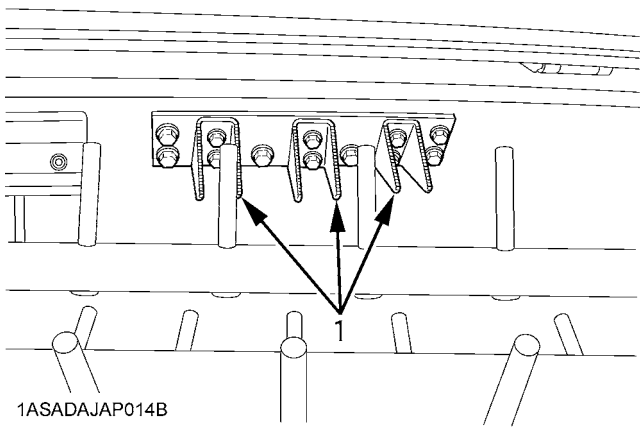

| 図番 | 品　名 | 品　番 | 対象型式 |
|---|---|---|---|
| 1 | チェーン（136） | 5T040-5624-0 | 全型式 |
| 2 | チェーン（90） | 5T040-5623-0 | |
| 3 | チェーン（216） | 5T040-5714-0 | |
| 4 | チェーン（76） | 5T000-4641-0 | |

### ◆ ベルト関係




| 図番 | 品　名 | 品　番 | 対象型式 |
|---|---|---|---|
| 1 | ベルト（ヘンソク） | 5T030-5339-0 | 全型式 |

### ◆ わら切刃




| 図番 | 品　名 | 品　番 | 対象型式 |
|---|---|---|---|
| 1 | セツダンバ | 5K190-2135-0 | 全型式 |

## 修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

<table>
<tr><td colspan="2">購入先名<br><br>担当<br><br>電話番号（　　）　　－</td><td>型式名</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>区分</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>車台番号（製造番号）</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>エンジン型式<br><br>エンジン番号</td></tr>
<tr><td>ご購入日</td><td>キーナンバー</td><td rowspan="2">その他装着型式<br><br>機械番号</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。


**クボタアグリサービス株式会社**

| | | |
|---|---|---|
| 秋田事務所：電(018)845-1601 | 〒011-0901 | 秋田市寺内字大小路207-54 |
| 仙台事務所：電(022)384-5162 | 〒981-1221 | 宮城県名取市田高字原182－1 |
| 東京事務所：電(048)862-1124 | 〒338-0832 | さいたま市桜区西堀５－２-36 |
| 新潟事務所：電(025)285-1261 | 〒950-0992 | 新潟市中央区上所上１-14-15 |
| 金沢事務所：電(076)275-1121 | 〒924-0038 | 石川県白山市下柏野町956－1 |
| 名古屋事務所：電(0586)24-5111 | 〒491-0031 | 愛知県一宮市観音町１－１ |
| 大阪事務所：電(06)6470-5850 | 〒661-8567 | 兵庫県尼崎市浜１－１－１ |
| 岡山事務所：電(086)279-4511 | 〒703-8216 | 岡山市東区宍甘275 |
| 米子事務所：電(0859)39-3181 | 〒689-3547 | 鳥取県米子市流通町430-12 |
| 福岡事務所：電(092)606-3161 | 〒811-0213 | 福岡市東区和白丘１－７－３ |
| 熊本事務所：電(096)357-6181 | 〒861-4147 | 熊本市南区富合町廻江846－1 |
| 株式会社北海道クボタ本社：電(011)661-2491 | 〒063-0061 | 北海道札幌市西区西町北16－１－１ |
| 株式会社四国クボタ本社：電(087)874-8500 | 〒769-0102 | 香川県高松市国分寺町国分字向647－３ |

**株式会社クボタ**

| | | |
|---|---|---|
| 国内農機カスタマーセンター：電(072)241-1375 | 〒590-0823 | 大阪府堺市堺区石津北町64 |



ARH430RC-CL/RC-CG
AT. E. 4-5. 1. K

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

品番　5T060-8512-1

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号